

公益社団法人郡山青年会議所  
2021年度 事業報告

## 2021年度 庶務報告

### 1. 総会

会議名	月日	場所	審議事項
12月臨時総会	2020年12月12日	ベルヴィ郡山館	第1号議案 2021年度事業計画(案)承認に関する件 第2号議案 2021年度収支予算(案)承認に関する件
1月定時総会	2021年1月27日	Zoomを利用したWEB開催	第1号議案 2020年度事業報告(案)承認に関する件 第2号議案 2020年度決算報告(案)承認に関する件 第3号議案 公益社団法人郡山青年会議所創立60周年記念式典・祝賀会全員登録(案)承認に関する件 第4号議案 2021年度福島ブロック大会in相馬並びに東北青年フォーラムin郡山全員登録(案)承認に関する件
9月定時総会	2021年9月24日	郡山ビューホテル アネックス	第1号議案 2021年度補正予算(案)承認に関する件 第2号議案 2022年度役員選任(案)承認に関する件 第3号議案 2022年度監事選任(案)承認に関する件
12月臨時総会	2021年12月11日	郡山ビューホテル	第1号議案 2022年度事業計画(案)承認に関する件 第2号議案 2022年度収支予算(案)承認に関する件

### 2. 理事会

会議名	月日	場所	審議事項
次年度第1回理事会	2020年9月30日	WEB理事会	第1号議案 「2021年度新入会員所属並びに委員会構成(案)」承認の件 第2号議案 「(公社)郡山青年会議所 2021年度会費一括納入(案)」承認の件 第3号議案 「2021年度上程書・報告書(案)」承認の件 第4号議案 「(公社)郡山青年会議所 2021年度名義後援基準(案)」承認の件 第5号議案 「2021年度文書発送書類及び発送(案)」承認の件
次年度第2回理事会	2020年10月9日	WEB理事会	第1号議案 「2021年度理事長所信(案)」承認の件 第2号議案 「公益社団法人 郡山青年会議所 2021年度組織図(案)」承認の件 第3号議案 「公益社団法人 郡山青年会議所 2021年度委員会所属(案)」承認の件
次年度第3回理事会	2020年10月27日	WEB理事会	第1号議案 「2021年度職務分掌(案)」承認の件
次年度第4回理事会	2020年11月12日	WEB理事会	第1号議案 「2021年度常任理事会・理事会開催日時(案)」承認の件 第2号議案 「2021年度収支予算(案)」承認の件 第3号議案 「2021年度委員会事業計画」承認の件
次年度第5回理事会	2020年12月8日	WEB理事会	第1号議案 「公益社団法人郡山青年会議所60周年実行委員会設置(案)」承認の件 第2号議案 「2021年度1月例会・定時総会開催(案)」承認の件 第3号議案 「公益社団法人郡山青年会議所2021年度例会開催(案)」承認の件 第4号議案 「2022年度新入会員募集(案)」承認の件 第5号議案 「2021年度 広報誌発刊(案)」承認の件 第6号議案 「2021年度 ホームページ並びにSNS運営・企画・管理(案)」承認の件
第1回臨時理事会	2021年1月4日	WEB理事会	第1号議案 「2021年度福島ブロック大会in相馬並びに東北青年フォーラムin郡山全員登録(案)」承認の件 第2号議案 「2021年度東北青年フォーラムin郡山実行委員会設置(案)」承認の件 第3号議案 「公益社団法人郡山青年会議所創立60周年記念式典・祝賀会全員登録(案)」承認の件 第4号議案 「2021年度1月定時総会上程議案(案)」承認の件 第5号議案 「(公社)郡山青年会議所 2021年度 理事長 柳沼 勝恵 君 選定(案)」承認の件 第6号議案 「(公社)郡山青年会議所 2021年度 副理事長 川村 憲司 君 選定(案)」承認の件 第7号議案 「(公社)郡山青年会議所 2021年度 副理事長 芝田 銀平 君 選定(案)」承認の件 第8号議案 「(公社)郡山青年会議所 2021年度 副理事長 久保田 雄大 君 選定(案)」承認の件 第9号議案 「(公社)郡山青年会議所 2021年度 専務理事 金山 慶一 君 選定(案)」承認の件 第10号議案 「2021年度特別委員会委員選任(案)」承認の件

会議名	月日	場所	審議事項
第1回理事会	2021年1月13日	WEB理事会	第1号議案 「2021年度 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向けセミナー開催(案)」承認の件
			追加審議事項
第2回理事会	2021年2月18日	WEB理事会	第1号議案 「2021年度 1月例会・定時総会開催内容修正(案)」承認の件
			第2号議案 「2020年度 第13回理事会審議事項一括承認及び第13回理事会審議事項承認(案)」承認の件
第3回理事会	2021年3月15日	WEB理事会	第1号議案 「心を一つに、乗り越えよう郡山 3. 11 ALL FOR ONE KORIYAMA 共催(案)」承認の件
			第2号議案 「2021年度4月例会並びに現役会員とOB会員の活動報告会開催(案)」承認の件
			第3号議案 「第60回『久米賞・百合子賞』実行委員会設置(案)」承認の件 「郡山市長選に伴う公開討論会開催(案)」承認の件
第4回理事会	2021年4月14日	WEB理事会	第1号議案 「2021年度1月例会・定時総会開催事業報告(案)」承認の件
			第2号議案 「2021年度5月例会並びにJCI郡山健康塾開催(案)」承認の件
			第3号議案 「第56回郡山市こどもまつり参加(案)」承認の件
			追加審議事項
第5回理事会	2021年5月14日	WEB理事会	第1号議案 「公益社団法人郡山青年会議所2021年度例会開催内容修正(案)」承認の件
			第2号議案 「2021年度新入会員候補者決定(案)」承認の件
			第3号議案 「わんぱく相撲こおりやま場所・福島ブロック大会開催及びわんぱく相撲全国大会参加(案)」承認の件
			追加審議事項
第6回理事会	2021年6月14日	WEB理事会	第1号議案 「2021年度 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向けセミナー開催補正予算(案)」承認の件
			第2号議案 「2021年度 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向けセミナー開催事業報告(案)」承認の件
			追加審議事項
			第1号議案 「公益社団法人郡山青年会議所2021年度例会開催補正予算(案)」承認の件
第7回理事会	2021年7月14日	WEB理事会	第1号議案 「つなげよう！共に創る未来への防災パトン～体感型防災アトラクション～開催(案)」承認の件
			第2号議案 「資質向上セミナー開催(案)」承認の件
			追加審議事項
			第1号議案 「公益社団法人郡山青年会議所創立60周年未来ビジョン策定(案)」承認の件
第8回理事会	2021年8月10日	WEB理事会	第2号議案 「公益社団法人郡山青年会議所2021年度例会開催内容修正(案)」承認の件
			第3号議案 「わんぱく相撲こおりやま場所・福島ブロック大会開催及びわんぱく相撲全国大会参加修正(案)」承認の件
			追加審議事項
			第1号議案 「2021年度4月例会並びに現役会員とOB会員の活動報告会開催補正予算(案)」承認の件
第9回理事会	2021年9月14日	WEB理事会	第2号議案 「2021年度4月例会並びに現役会員とOB会員の活動報告会開催事業報告(案)」承認の件
			第3号議案 「郡山市長選に伴う公開討論会開催 補正予算(案)」承認の件
			第4号議案 「郡山市長選に伴う公開討論会開催(案)」承認の件
			追加審議事項
第10回理事会	2021年7月19日	WEB理事会	第1号議案 「MUSIC TOMORROW KORIYAMA 開催(案)」承認の件
			追加審議事項
			第1号議案 「2021年度 収支補正予算(案)」承認の件
			第2号議案 「2021年度 9月定時総会上程議案(案)」承認の件
			第3号議案 「こおりやま舞妓連育成事業 後援(案)」承認の件
			第4号議案 「2021年度5月例会並びにJCI郡山健康塾開催補正予算(案)」承認の件
			第5号議案 「2021年度5月例会並びにJCI郡山健康塾開催事業報告(案)」承認の件
第6号議案 「2021年度9月例会・定時総会開催(案)」承認の件			
第11回理事会	2021年8月10日	WEB理事会	追加審議事項
			第1号議案 「つなげよう！共に創る未来への防災パトン～体感型防災アトラクション～開催内容修正(案)」承認の件
			第1号議案 「2021年度11月例会並びに第60回『久米賞・百合子賞』授賞式開催(案)」承認の件
			追加審議事項
第12回理事会	2021年9月14日	WEB理事会	第1号議案 「ドライブ in フェスタ郡山 2021 後援(案)」承認の件
			第2号議案 「こおりやま産業博-KORIYAMA EXPO 2021- 後援(案)」承認の件
			第3号議案 「2021年度公益社団法人郡山青年会議所 監事辞任(案)」承認の件

会議名	月日	場所	審議事項	
第10回理事会	2021年10月14日	WEB理事会	第1号議案	「2021年度12月臨時総会並びに卒業式開催(案)」承認の件
			第2号議案	「2021年度12月例会開催(案)」承認の件
			第3号議案	「資質向上セミナー開催事業報告(案)」承認の件
			追加審議事項	
			第1号議案	「つなげよう！共に創る未来への防災バトン～リモート型防災アトラクション～開催内容修正(案)」承認の件
第11回理事会	2021年11月12日	WEB理事会	追加審議事項	
			第1号議案	「2021年度 12月臨時総会上程議案(案)」承認の件
			第2号議案	「2022年度新入会員候補者決定(案)」承認の件
			第3号議案	「公益社団法人郡山青年会議所2021年度褒賞(案)」承認の件
第12回理事会	2021年12月14日	WEB理事会	第1号議案	「公益社団法人郡山青年会議所2021年度例会開催補正予算(案)」承認の件
			第2号議案	「2021年度9月例会・定時総会開催事業報告(案)」承認の件
			第3号議案	「MUSIC TOMORROW KORIYAMA 開催 補正予算(案)」承認の件
			追加審議事項	
			第1号議案	「2022年度新入会員候補者決定(案)」承認の件
第13回理事会	2021年1月12日	郡山青年会議所 事務局	第1号議案	「公益社団法人郡山青年会議所2021年度例会開催事業報告(案)」承認の件
			第2号議案	「2021年度12月臨時総会並びに卒業式開催事業報告(案)」承認の件
			第3号議案	「2021年度12月例会開催事業報告(案)」承認の件
			第4号議案	「2022年度新入会員候補者決定(案)」承認の件
			第5号議案	「2022年度新入会員募集 事業報告(案)」承認の件
			第6号議案	「2021年度 広報誌発刊 事業報告(案)」承認の件
			第7号議案	「2021年度 ホームページ並びにSNS運営・企画・管理事業報告(案)」承認の件
			第8号議案	「第60回『久米賞・百合子賞』実行委員会設置事業報告(案)」承認の件
			第9号議案	「2021年度11月例会並びに第60回『久米賞・百合子賞』授賞式開催事業報告(案)」承認の件
			第10号議案	「MUSIC TOMORROW KORIYAMA 開催 事業報告(案)」承認の件
			第11号議案	「わんぱく相撲こおりやま場所・わんぱく相撲福島ブロック大会開催及びわんぱく相撲全国大会参加事業報告(案)」承認の件
			第12号議案	「つなげよう！共に創る未来への防災バトン～リモート型防災アトラクション～補正予算(案)」承認の件
			第13号議案	「つなげよう！共に創る未来への防災バトン～リモート型防災アトラクション～開催事業報告(案)」承認の件
			第14号議案	「公益社団法人郡山青年会議所2021年度褒賞 事業報告(案)」承認の件
			第15号議案	「公益社団法人郡山青年会議所 2021年度事業報告(案)」承認の件
			第16号議案	「2021年度公益社団法人郡山青年会議所 収支決算報告(案)」承認の件

## 公益社団法人郡山青年会議所 2021年度年間事業

日時			業務報告
1月	4日	11:10～	新年祈祷 / 場所：安積国造神社
1月	4日	13:00～	第1回 臨時理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
1月	4日	19:00～	第1回 常任理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
1月	4日	21:00～	第1回60周年正副部会長会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
1月	4日	22:00～	第1回東北青年フォーラムin郡山 正副部会長会議 / 場所：WEB会議
1月	13日	19:00～	第1回理事会 / WEB理事会
1月	13日	20:00～	第1回60周年実行委員会 /WEB会議
1月	13日	21:00～	第1回東北青年フォーラムin郡山 実行委員会 / WEB会議
1月	14日	12:00～	郡山ロータリークラブ理事長卓話/場所：郡山ビューホテルアネックス
1月	18日	18:00～	第1回県南エリア理事長連絡会議 / 場所：WEB会議
1月	22日	13:30～16:10	家庭教育応援プロジェクト「第2回地域家庭教育推進県中ブロック会議」 / 場所：郡山合同庁舎
1月	23日	12:30～17:00	京都会議新年式典WEB視聴会 / 場所：WEB
1月	24日	09:30～11:00	京都会議新年式典WEB視聴会 / 場所：WEB
1月	27日	17:30～20:00	1月例会・定時総会 / 場所：WEB開催
1月	28日	19:00～	財政審査会議 / 公益社団法人郡山青年会議所事務局
2月	3日	13:30～15:30	令和2年度郡山市「少年の主張」コンクール発表大会 / 場所：郡山市立中央公民館 多目的ホール
2月	3日	19:00～	第2回常任理事会 / 場所：WEB常任理事会
2月	3日		第2回 60周年正副部会長会議 / 場所：WEB会議
2月	3日		第2回 東北青年フォーラムin郡山 正副部会長会議 / 場所：WEB会議
2月	5日	18:00～19:30	第1回会員会議所会議 / 場所：WEB会議
2月	15日		第2回 60周年実行委員会 / 場所：WEB会議
2月	15日		第2回 東北青年フォーラムin郡山実行委員会 / 場所：WEB会議
2月	18日	19:00～	第2回理事会 / 場所：WEB理事会
2月	19日	19:00～	議案書セミナー / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局

2月	22日	20:30～	財政審査会議 / 公益社団法人郡山青年会議所事務局
2月	25日	19:00～20:30	2月例会 / 場所：郡山市郡山公会堂
2月	26日	18:00～19:50	第2回県南エリア理事長連絡会議 / 場所：鏡石館
2月	27日	10:00～19:00	2021年度新入会員オリエンテーション / 場所：郡山市市民交流プラザ
3月	1日	19:00～	第3回 常任理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
3月	1日		第3回 60周年正副部会長会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
3月	1日		第3回 東北青年フォーラム in 郡山 正副部会長会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
3月	5日	18:00～	第2回会員会議所会議 / 場所：田村
3月	9日	19:30～	事務財政局会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
3月	11日	11:30～	2021年度復興の灯火プロジェクト / 場所：郡山駅西口広場
3月	11日	13:30～	第10回福魂祭「式典・記念行事」 / 場所：開成山大神宮
3月	11日	16:00～	3.11 ALL FOR ONE KORIYAMA / 場所：開成山公園
3月	12日	10:00～	東北青年フォーラム主催・主管打ち合わせ / 場所：事務局
3月	15日	19:00～	第3回理事会 / 場所：WEB理事会
3月	15日		第3回 60周年実行委員会 / 場所：WEB会議
3月	15日		第3回 東北青年フォーラム in 郡山実行委員会 / 場所：WEB会議
3月	20日	19:00～	第3回 福島の未来創造委員会 / 場所：セルフミーティングルーム虎丸 会議室A
3月	23日	19:00～	トークンナイト / 場所：かに徳
3月	24日	18:00～	第3回県南エリア理事長連絡会議 / 場所：いわき石川
3月	25日	13:10～	郡山市議会特別委員会 / 場所：郡山市役所 西庁舎
3月	25日	19:00～20:30	3月例会 / 場所：郡山市郡山公会堂
3月	26日	19:00～	財政審査会議 / 公益社団法人郡山青年会議所事務局
3月	27日	13:00～17:30	公益社団法人日本青年会議所 第167回総会 / 場所：国立京都国際会館 メインホール
4月	1日	19:00～	第4回 常任理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
4月	1日		第4回 60周年正副部会長会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
4月	1日		第4回 東北青年フォーラム in 郡山 正副部会長会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局

4月	3日	18:00~19:30	郡山市長選に伴う公開討論会開催 / 場所：WEB配信
4月	8日	19:30~	事務財政局会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
4月	9日	15:30~	第3回会員会議所会議 / 場所：いわき
4月	13日	13:30~	郡山うねめまつり実行委員会企画部会 / 場所：郡山商工会議所会館
4月	14日	19:00~	第4回理事会 / 場所：WEB理事会
4月	14日		第4回 60周年実行委員会 / 場所：WEB理事会
4月	14日		第4回 東北青年フォーラム in 郡山実行委員会 / 場所：WEB理事会
4月	17日	18:30~21:00	創立60周年キックオフミーティング / 場所：郡山市中央公民館多目的ホール
4月	17日	19:00~	第4回福島未来創造委員会 / 場所：いわき青年会議所事務局
4月	21日	13:30~	郡山うねめまつり実行委員会総会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
4月	21日	14:30~	サマーフェスタ IN KORIYAMA 実行委員会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
4月	22日	19:00~	財政審査会議 / 公益社団法人郡山青年会議所事務局
4月	24日	08:30~17:30	しゃくなげカップ2021 / 場所：ヘレナ国際カントリー倶楽部
4月	26日	17:00~20:30	4月例会並びに現役会員とOB会会員の活動報告会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
4月	27日	18:00~	第4回県南エリア理事長連絡会議 / 場所：WEB
4月	28日	19:00~	第5回常任理事会 / 場所：WEB常任理事会
4月	28日		第5回 60周年正副部会長会議 / 場所：WEB正副部会長会議
4月	28日		第5回 東北青年フォーラム in 郡山 正副部会長会議 / 場所：WEB正副部会長会議
4月	30日	18:00~	第60回「久米賞・百合子賞」実行委員会 第1回委員会 / 場所：郡山市役所本庁舎5階 教育委員会室
5月	7日	19:00~	第5回福島未来創造委員会 / 場所：会津青年会議所事務局
5月	9日	15:30~	第4回会員会議所会議 / 場所：二本松
5月	12日	19:00~	理事長対談 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
5月	14日	19:00~	第5回理事会 / 場所：WEB理事会
5月	14日		第5回 60周年実行委員会 / 場所：WEB実行委員会
5月	14日		第5回 東北青年フォーラム in 郡山実行委員会 / 場所：WEB実行委員会
5月	18日	13:30~	郡山地域道路整備促進期成同盟会通常総会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス 3F雲水峰

5月	18日	15:30～	郡山産業博 KORİYAMA EXPO 2021 実行委員会総会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス 3F雲水峰
5月	23日	18:00～	福島の未来創造委員会 第5回委員会 / 場所：いわき青年会議所およびWEB
5月	26日	19:00～	財政審査会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
5月	30日	09:30～	2021年度5月例会並びにJCI郡山健康塾 / 場所：WEB例会
5月	31日	18:30～	郡山市こどもまつり第4回実行委員会 / 場所：郡山市役所 西庁舎
6月	1日	19:00～	第6回 常任理事会 / 場所：WEB常任理事会
6月	1日		第6回 60周年正副部会長会議 / 場所：WEB正副部会長会議
6月	1日		第6回 東北青年フォーラムin郡山 正副部会長会議 / 場所：WEB正副部会長会議
6月	2日	19:00～	第3回 東北青年フォーラム準備委員会 / 場所：WEB会議
6月	6日	16:30～	郡山農学校総会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
6月	8日	19:00～	事務財政局会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
6月	14日	19:00～	第6回理事会 / 場所：WEB理事会
6月	14日		第6回 60周年実行委員会 / 場所：WEB実行委員会
6月	14日		第6回 東北青年フォーラムin郡山実行委員会 / 場所：WEB実行委員会
6月	20日	09:00～16:00	JCカップ / 場所：Jヴィレッジ
6月	23日	19:00～20:30	6月例会 / 場所：郡山市郡山公会堂
6月	24日	18:00～	第5回県南エリア理事長連絡会議 / 場所：東白川
6月	25日	19:00～	財政審査会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
6月	26日	08:40～	バチコイ2021 JC野球大会 / 場所：会津
6月	30日		創立60周年記念動画配信 / 場所：WEB
7月	1日	19:00～	第7回常任理事会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
7月	1日		第7回 60周年正副部会長会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
7月	3日	09:00～11:00	第5回会員会議所会議 / 場所：相馬市民会館 多目的ホール
7月	3日	12:00～18:30	第51回福島ブロック大会in相馬 各種イベント / 場所：御製碑のある公園
7月	6日	13:30～	郡山うねめまつり企画部会 / 場所：郡山商工会議所
7月	7日	19:30～	第7回 東北青年フォーラムin郡山 正副部会長会議 / 場所：WEB会議



7月	8日	19:00～	事務財政局会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
7月	9日	13:00～	中間会計監査・事業監査 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
7月	11日	08:00～	第24回わんぱく相撲福島ブロック大会 / 場所：トヨタクラウンアリーナ（国体記念体育館）
7月	14日	19:00～	第7回理事会 / 場所：WEB理事会
7月	14日		第7回 60周年実行委員会 / 場所：WEB実行委員会
7月	14日		第7回 東北青年フォーラム in 郡山実行委員会 / 場所：WEB実行委員会
7月	17日		サマーコンファレンス2021 / 場所：パシフィコ横浜
7月	18日		サマーコンファレンス2021 / 場所：パシフィコ横浜
7月	19日	19:00～	第2回臨時理事会 / 場所：WEB理事会
7月	19日		第1回 臨時東北青年フォーラム in 郡山実行委員会 / 場所：WEB実行委員会
7月	20日	19:00～	7月例会 / 場所：郡山市労働福祉会館 3階 大ホール
7月	21日	14:00～17:00	役員会議 / 場所：ホテルハマツ
7月	22日	09:00～	JCカップ 東北大会 1日目 / 場所：Jヴィレッジ
7月	23日	09:00～	JCカップ 東北大会 2日目 / 場所：Jヴィレッジ
7月	24日	19:00～	財政審査会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
7月	26日	18:00～	資質向上セミナー / 場所：郡山市労働福祉会館 大ホール
7月	27日	14:00～	郡山市明るい祭礼推進委員会会計監査 / 場所：郡山商工会議所
7月	30日	19:00～	第8回常任理事会 / 場所：WEB常任理事会
7月	30日		第8回 60周年正副部会長会議 / 場所：WEB正副部会長会議
7月	30日		第8回 東北青年フォーラム in 郡山 正副部会長会議 / 場所：WEB正副部会長会議
8月	4日	19:30～	事務財政局会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
8月	10日	19:00～	第8回理事会 / 場所：WEB理事会
8月	10日		第8回 60周年実行委員会 / 場所：WEB実行委員会
8月	10日		第8回 東北青年フォーラム in 郡山実行委員会 / 場所：WEB実行委員会
8月	23日	18:00～	第6回県南エリア理事長連絡会議 / 場所：WEB会議
8月	25日	19:00～	財政審査会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局

8月	26日	19:00～	8月例会 / 場所：WEB例会
9月	1日	19:00～	第9回常任理事会 / 場所：WEB常任理事会
9月	1日		第9回 60周年正副部会長会議 / 場所：WEB正副部会長会議
9月	1日		第9回 東北青年フォーラム in 郡山 正副部会長会議 / 場所：WEB正副部会長会議
9月	2日	17:00～	第6回会員会議所会議 / 場所：保原中央交流館
9月	3日	10:00～	郡山市長表敬訪問 / 場所：郡山市役所
9月	3日	11:30～	大会成功祈願 / 場所：安積国造神社
9月	4日	12:40～13:30	東北青年フォーラム in 郡山 オープニング / 場所：ホテルハマツ WEB配信
9月	4日	13:40～15:00	東北青年フォーラム in 郡山 リーダーシップ&マネジメントフォーラム / 場所：ホテルハマツ WEB配信
9月	4日	15:30～16:40	防災トークショー～共に創る未来への防災バトン～ / 場所：ホテルハマツ3F平安の間
9月	4日	17:10～18:30	東北青年フォーラム in 郡山 意識改革フォーラム / 場所：ホテルハマツ WEB配信
9月	5日	08:50～10:00	東北青年フォーラム in 郡山 クロージング / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局よりWEB配信
9月	5日	10:50～	MUSIC TOMORROW KORIYAMA / 場所：郡山女子大学 建学記念講堂
9月	8日	19:30～	事務財政局会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
9月	9日	18:30～	第60回「久米賞・百合子賞」読み合わせ会 / 場所：(公社)郡山青年会議所事務局
9月	14日	19:00～	第9回理事会 / 場所：WEB理事会
9月	14日		第9回 60周年実行委員会 / 場所：WEB実行委員会
9月	14日		第9回 東北青年フォーラム in 郡山実行委員会 / 場所：WEB実行委員会
9月	19日	09:00～	JCカップ 全国大会 1日目 / 場所：Jヴィレッジ
9月	20日	09:00～	JCカップ 全国大会 2日目 / 場所：Jヴィレッジ
9月	22日	18:00～	第7回県南エリア理事長連絡会議 / 場所：白河
9月	24日	18:00～20:30	2021年度9月例会・定時総会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス 花勝見
9月	25日	16:00～	(公社)会津JC創立70周年記念式典 / 場所：ルネッサンス中の島 3F
9月	25日	19:00～	財政審査会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
9月	27日	19:00～	理事長座談会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
9月	28日	18:00～	第60回「久米賞・百合子賞」実行委員会 第2回委員会 / 場所：郡山市役所 教育委員会室
10月	1日	17:00～19:00	第1回会員会議所会議予定者ミーティング / 場所：いわき市

10月	1日	19:00～	第10回常任理事会 / 場所：(公社) 郡山青年会議所事務局
10月	7日		全国大会とちぎ宇都宮大会 / 場所：宇都宮市
10月	8日		全国大会とちぎ宇都宮大会 / 場所：宇都宮市
10月	8日	16:00～16:40	日本JCシニアクラブ第84回臨時総会 / 場所：ホテル東日本宇都宮
10月	8日	17:00～18:00	記念講演会 / 場所：ホテル東日本宇都宮
10月	8日	18:10～20:10	会員懇親会 / 場所：ホテル東日本宇都宮
10月	8日	20:30～	事務財政局会議 / 場所：WEB会議
10月	9日		全国大会とちぎ宇都宮大会 / 場所：宇都宮市
10月	9日	14:10～	70周年記念大会式典 / 場所：カンセキスタジアムとちぎ
10月	10日		全国大会とちぎ宇都宮大会 / 場所：宇都宮市
10月	13日	17:00～	第7回会員会議所会議 / 場所：ルネッサンス中の島
10月	14日	11:00～13:00	令和3年度「小学生の税に関する標語」審査会 / 場所：郡山法人会会館
10月	14日	19:00～	第10回理事会 / 場所：WEB理事会
10月	16日	13:00～20:00	福島ブロック協議会 組織連携推進委員会 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
10月	21日	10:30～15:00	郡山税務署来局（講師報酬等に関する調査） / 場所：事務局
10月	22日	19:00～	第60回「久米賞・百合子賞」最終審査会 / 場所：郡山市労働福祉会館 3階大ホール
10月	26日	19:00～	財政審査会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
10月	28日	19:00～	東北青年フォーラム in 郡山活動報告会 / 場所：ホテルハマツ
10月	31日		第36回わんぱく相撲全国大会 / 場所：両国国技館
11月	1日	19:00～	第11回常任理事会 / 場所：(公社) 郡山青年会議所事務局
11月	1日		第10回 60周年正副部会長会議 / 場所：(公社) 郡山青年会議所事務局
11月	1日		第10回 東北青年フォーラム in 郡山 正副部会長会議 / 場所：(公社) 郡山青年会議所事務局
11月	6日	19:30～	事務財政局会議 / 場所：WEB会議
11月	7日	10:00～11:30	リモート型防災アトラクション ザ・リモート / 場所：インターネット環境のある場所
11月	9日	14:00～	東北青年フォーラム 大会の鍵伝達式 / 場所：栗原市
11月	9日	18:00～	第8回県南エリア理事長連絡会議 / 場所：白河
11月	12日	16:30～17:00	ビッグツリーページェント・フェスタ IN KORIYAMA オープニングセレモニー / 場所：郡山駅前西口広場

11月	12日	19:00～	第11回理事会 / 場所：WEB理事会
11月	12日		第10回 60周年実行委員会 / 場所：WEB実行委員会
11月	12日		第10回 東北青年フォーラム in 郡山実行委員会 / 場所：WEB実行委員会
11月	15日	10:10～10:30	小学生の税に関する標語賞状授与式（郡山法人会） / 場所：小原田小学校 校長室
11月	19日	17:00～	第2回県南エリア予定者会議 / 場所：WEB会議
11月	19日	18:00～	歴代地区会長会 / 場所：仙台市
11月	23日	13:30～	11月例会並びに第60回『久米賞・百合子賞』授賞式 / 場所：郡山市労働福祉会館 大ホール（3階）
11月	23日	13:30～	（一社）田村青年会議所創立40周年記念式典 / 場所：迎賓館辰巳屋
11月	24日	19:00～	財政審査会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
11月	25日	19:00～	歴代理事長を囲む会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス 4F 花勝見
11月	28日	13:20～14:50	アカデミー閉校式 / 場所：福島市 ウエディングエルティ ハートン・シエラ・マキシー
11月	28日	15:10～15:40	SDGs褒賞 / 場所：福島市 ウエディングエルティ スクエア
11月	28日	15:40～16:40	事業報告会 / 場所：福島市 ウエディングエルティ スクエア
11月	28日	17:10～18:40	ブロック卒業式 / 場所：福島市 ウエディングエルティ ハートン・シエラ・マキシー
11月	28日	19:00～20:30	大懇親会 / 場所：福島市 ウエディングエルティ スクエア
11月	30日	13:30～	郡山市青少年健全育成推進大会 / 場所：郡山市立中央公民館
12月	1日	11:00～13:30	第60回福島民報広告大賞モノクロの部銀賞表彰式 / 場所：民報ビル
12月	1日	15:20～	奥羽大学歯学部「郡山学/福島学」講義 / 場所：奥羽大学第3講義棟
12月	1日	19:00～	第12回常任理事会 / 場所：（公社）郡山青年会議所事務局
12月	1日		第11回 60周年正副部会長会議 / 場所：（公社）郡山青年会議所事務局
12月	1日		第11回 東北青年フォーラム in 郡山 正副部会長会議 / 場所：（公社）郡山青年会議所事務局
12月	2日		県立郡山高等学校令和3年度1学年職業人講和 / 場所：郡山高等学校
12月	6日	19:00～20:30	郡山青年会議所創立60周年活動報告会 / 場所：郡山ビューホテル
12月	8日	19:30～	事務財政局会議 / 場所：公益社団法人郡山青年会議所事務局
12月	11日	13:00～13:50	12月臨時総会 / 場所：郡山ビューホテル 4階 パラシオ
12月	11日	14:00～18:20	卒業式 / 場所：郡山ビューホテル 4階 パラシオ
12月	14日	19:00～	第12回理事会 / 場所：WEB理事会

12月	14日		第11回 60周年実行委員会 / 場所: WEB実行委員会
12月	14日		第11回 東北青年フォーラム in 郡山実行委員会 / 場所: WEB実行委員会
12月	15日	16:00~19:50	12月例会 / 場所: 郡山ビューホテル 4階 パラシオ
12月	21日	18:00~	第60回「久米賞・百合子賞」実行委員会 第3回委員会 / 場所: 郡山市役所 教育委員会室
12月	19日	18:00~	歴代地区会長会 / 場所: 仙台市
12月	23日	13:30~	11月例会並びに第60回『久米賞・百合子賞』授賞式 / 場所: 郡山市労働福祉会館 大ホール(3階)
12月	26日	18:00~	郡山農学校忘年会 / 場所: 郡山ビューホテルアネックス
12月	29日	19:00~	財政審査会議 / 場所: WEB会議
1月	6日	19:00~	財政審査会議 / 場所: 公益社団法人郡山青年会議所事務局
1月	7日	10:00~	2021年度事業監査・会計監査 / 場所: 公益社団法人郡山青年会議所事務局
1月	7日	19:00~	第13回常任理事会 / 場所: 公益社団法人郡山青年会議所事務局
1月	12日	19:00~	第13回理事会 / 場所: 公益社団法人郡山青年会議所事務局

## 常任理事報告

### 副理事長報告

副理事長 川村 憲司

本年度、副理事長という重責をお預かりさせていただきました。柳沼理事長の掲げる「共奏～共に創ろう 笑顔と活気溢れる郡山の未来を～」のスローガンのもと、創立以来60年にわたり受け継がれてきた先輩諸氏の不変の想いと覚悟を継承することができました。また、公益法人格を有する団体として相応しい事業構築や組織運営についても助言・指導し未来を創る人材の育成や青年会議所運動の本質を伝えてまいりました。

しかしながら本年も新型コロナウイルス感染症の蔓延により、創立60周年記念式典や東北青年フォーラム in 郡山をはじめとする多くの事業に計画変更が生じることとなりましたがメンバー一人ひとりが妥協なき議論を重ね、試行錯誤を繰り返しながらも実行することで困難な状況下においても最大限の効果を発揮することができたと考えます。このような素晴らしい経験をさせていただきました柳沼理事長をはじめいたしますメンバーの皆様に感謝申し上げ、副理事長報告とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。

副理事長 芝田 銀平

本年度は「共奏～共に創ろう 笑顔と活気溢れる郡山の未来を～」のスローガンのもと、先輩諸氏から連綿と受け継がれてきた郡山青年会議所の歴史と伝統、そして私自身が先輩の皆様からご指導いただいた経験を一年間現役会員へと伝えてまいりました。また、2021年度は新型コロナウイルスの蔓延と収束が幾度も繰り返され、事業の構築や実施において、非常に判断が難しい場面が多々ございましたが、現役会員一人ひとりが当事者意識を持ち、初のWEB開催となる創立60周年記念式典、創立60周年記念郡山JC歌舞伎、東北青年フォーラム in 郡山を開催し、笑顔と活気溢れる郡山の未来を共に創ることができました。

最後となりますが本年度、副理事長という重責を与えていただきました柳沼理事長をはじめ現役会員の皆様には感謝するとともに、本年度得た気づきや学びを今後のJC運動・活動に活かすことをお約束させていただき、報告とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。

副理事長 久保田 雄大

本年度は、柳沼勝恵理事長が掲げる「共奏～共に創ろう 笑顔と活気溢れる郡山の未来を～」のスローガンのもと、副理事長として全力で運動に取り組んで参りました。

創立60周年という大きな節目を迎えた本年、LOM事業、創立60周年記念事業、そして東北青年フォーラムの主管と多くの担いがございましたが、先輩諸氏が紡いでこられた歴史と伝統を礎に、メンバー一丸となり時代に即した運動を展開することで、笑顔と活気溢れる郡山の未来を切り拓くことができたと確信しております。組織としての判断が難しい状況

が多々ございましたが、その時に応じた最適解を議論し導き出し、最後まで成し遂げたこの経験を通して得ることができた多くの気づきや学びを、次年度以降にしっかりと活かして参ります。

このような貴重な機会を与えていただきました柳沼勝恵理事長をはじめとする全ての現役メンバーの皆様に感謝を申し上げ、副理事長報告とさせていただきます。一年間、ありがとうございました。

## 特別局長報告

事務財政局特別局長 二瓶 一嘉

本年度、「共奏～共に創ろう 笑顔と活気溢れる郡山の未来を～」のスローガンのもと、公益社団法人を有する組織として、健全で円滑に進められるように、事務財政局メンバー丸となり務めさせていただきました。

本年度の主な活動としては、専務理事の業務全般を補佐するとともに、諸会議を円滑に実施できるよう、各委員会の議案上程スケジュールの管理、財政審査会議による議案書並びに予算書の事前審査、アジェンダシステムの運用、コンプライアンスの確認等を実施しました。また、本年度に特徴的な活動としては、新型コロナウイルス流行に伴い公益社団法人郡山青年会議所新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策ガイドラインの策定や時代に即した形で諸会議をZOOMにて行えるよう環境を整備いたしました。この1年間、常任理事の一員である事務財政局特別局長という役職を務めさせていただき、数多くの機会を与えていただきました。このような貴重な経験の機会を与えていただきました柳沼理事長を始めとする全ての現役メンバーの皆様に厚く御礼申し上げます。

## 室長報告

指導力開発室室長 伊藤 千拓

2021年度の指導力開発室は、柳沼勝恵理事長の掲げる「共奏～共に創ろう 笑顔と活気溢れる郡山の未来を～」のもと、会員の資質向上及び会員拡大活動と広報活動を展開してまいりました。

佐久間悠治委員長が率います会員開発委員会では「つたえる ～同志の輪を広げよう～」を委員会のスローガンに掲げ、会員の資質向上及び会員拡大活動を展開してまいりました。コロナ渦の状況において2月に開催した「新入会員オリエンテーション」は、時代に即した形式で実施し、新入会員にはJC運動、活動の目的や意義を学んでいただきました。また現役会員にはハイブリット形式を用いて「現役会員向けセミナー」や7月には「資質向上セミナー」を開催し、JCの役割を再確認していただく機会となり、組織で求められる人財について学んでいただきました。また10月に開催した全国大会宇都宮大会の引率を担当し、大会テーマである「真に持続可能な輝ける未来へ」のもと、ニューノーマルな時代における持続可能な地域創造の必要性を学ぶことができました。会員拡大活動においては、今年度の取

り組みとして J C 運動、活動の目的や J C の魅力をより効果的につたえるために候補者へ参加を促し、候補者向け説明会を開催するとともに、女性会員候補者にも積極的に会員拡大活動を進めてまいりました。その結果として 2022 年度は男性会員 8 名、女性会員 2 名の新たな同志を迎え入れることができました。

坂本皓亮委員長が率います広報委員会では「つなげる ～共感と信頼が溢れる未来へ～」を委員会のスローガンに掲げ、従来の広報誌やホームページに加え、SNS を活用しより多くの皆様とつながり、郡山青年会議所の想いと魅力を効果的に伝え広げていく広報活動を展開してまいりました。今年度は、例会や各委員会事業の他に「創立 60 周年」や「東北青年フォーラム in 郡山」の事業と会員の情報を発信することで、対内だけではなくひとりでも多くの皆様に共感を広げることができ、会員拡大にもつなげることができました。2 月に開催した「新入会員オリエンテーション」では室合同で協力し、設営に取り組み、7 月のサマーコンファレンス 2021 は引率を担当する予定ではありましたが、残念ながらコロナ渦の状況を鑑みて実地参加を見送りましたが、会員が WEB で視聴できるよう設営に取り組みました。また、11 月には歴史と伝統のある「第 60 回久米賞・百合子賞授賞式」を開催いたしました。作品数こそ昨年を上回ることはできませんでしたが、今年度はコロナ渦の状況下において、紙媒体の応募だけではなくデータ応募も用いて郡山市内の中学三年生より作品をご応募いただきました。授賞式では講演会も実施し、言葉の大切さを学んでいただきました。歴史と伝統を継承し、挑戦する重要性和言葉の大切さを青少年に向けて発信したことで、文学に関わることの素晴らしさを教育の一環として推進することができました。

最後に室長として貴重な機会を与えていただいた柳沼勝恵理事長に感謝申し上げ、指導力開発室として両委員会と共に J C 運動、活動を全うでき、支えてくださった LOM のメンバーに感謝申し上げ、関わっていただいたすべての皆様に感謝申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。

未来創造室室長 新田 義幸

2021 年度の未来創造室は、柳沼勝恵理事長の掲げる「共奏～共に創ろう 笑顔と活気溢れる郡山の未来を～」のスローガンのもと、まちづくり事業と青少年育成事業を精力的に展開して参りました。

本年度は「東北青年フォーラム in 郡山」、「公益社団法人郡山青年会議所創立 60 周年記念事業」に合わせてまちづくり委員会は「Ensemble～楽都郡山から奏でる未来への響き～」の委員会スローガンのもと青少年育成委員会が「未来へ～過去を知り、今を生きる～」のスローガンのもとに事業構築に邁進し取り組んでまいりました。昨年に続き新型コロナウイルスの感染拡大の影響により度重なる変更や中止を余儀なくされた事業が多くありましたが各委員会とも時代に即したかたちで事業を展開することができました。

織田委員長率いますまちづくり委員会では 4 月に行われた市長選に向けての郡山市長選に伴う公開討論会で初の試みとなる動画配信ということで慣れない設営で不備もございました。



たがニューノーマルの時代に即したかたちで開催することができました。9月に行われた MUSIC TOMORROW KORIYAMA では開催期間が新型コロナウイルス感染症拡大によるまん延防止等重点措置期間に該当したことで、当初の計画段階より変更を余儀なくされました。そのような中でも May J. 多胡 邦夫氏をお呼びし震災から 10 年の節目に募金、音楽を通して復興への想いを紡ぐことができました。またコロナ禍ということで合唱動画と実演のハイブリッド演奏やマスクを着用しての合唱等、時代に即したかたちで事業を展開することができました。

佐藤委員長率います青少年育委員会では 5 月に行われました第 56 回こどもまつりにおいて

実地での開催ではなく動画コンテンツ配信という新しい試みではございましたが防災に関する問題をクイズ形式で出題することで配信期間中 7500 回を超える視聴をいただくことができました。また「わんぱく相撲」ではこおりやま場所の中止、福島ブロック大会では入場を制限しての開催、全国大会ではさらに入場条件を厳しくしての開催となったが郡山から全国大会へ出場した 2 名の選手においては、困難な状況での目標に向けて努力することの大切さや相手への思いやり、支えてくれる家族や指導者への感謝の気持ちを育成することができた。そして青少年育成委員会のメインになる防災事業では東北青年フォーラム i n 郡山内において防災トークショーの開催、東北では初となるリモート型防災アトラクションの開催などともに多くの方々に視聴、体感していただくことができた。災害大国としても一人ひとりの意識や役割、地域との関わり方が見直されている中で、防災について総合的に理解を深め、過去の困難を学び、知識教育と体験教育の両面から総合的に理解することで、環境の変化に応じた判断能力の向上へと繋げることができました。

本年度は創立 60 周年記念事業として郡山青年会議所の伝統である J C 歌舞伎を記念事業・アトラクション部会の副会長として担当させていただきました。本年は情勢を鑑み収録配信という形での開催となりましたが、500 回を超える視聴をいただき次の 65 周年に伝統を引き継ぐことができたのではないかと感じております。また東北青年フォーラム i n 郡山ではたからいち・大懇親会部会の副会長として東北青年フォーラム内における大懇親会の企画・設営の方を担当させていただきました。こちらも新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置期間中と重なり開催中止を余儀なくされたため中止にはなりましたが度重なる変更に対応していただいた両委員会のメンバーには感謝しかございません。

最後に未来創造室の運動・活動を支えてくださった全てのメンバーの皆様、さまざまな面で助言をいただきました常任理事の皆様、そしてこのような機会を与えていただいた柳沼理事長に感謝申し上げ報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

## 2021年度 総務委員会

委員長 矢吹 瞬  
副委員長 本多 利幸  
副委員長 片田 光  
副委員長 望月 俊弥

★委員会スローガン

# 切磋琢磨

### ★事業方針

郡山青年会議所は設立から60年という長い歴史のなか、明るい豊かな社会の実現に向けて絶えずまちづくり、ひとづくりに邁進してきた。その長きにわたり、総務委員会はL O Mの運動・活動を支え続けてきた。社会の急速な変化や多様な価値観の変遷のなか、郡山青年会議所が持続可能な組織であり続けるためには、L O Mの要である委員会としての矜持を持ち活動していかなければならない。

我々総務委員会は、各委員会が青年会議所運動・活動に尽力できるよう例会や各種事業の設営を確実にを行うことで組織の中枢を担い、そのなかで青年会議所の基本を学び互いの成長を図っていく。新入会員は、例会や各種会議の設営、事業を通して青年会議所運動の趣旨や目的、そしてまちづくり、ひとづくりについて学ぶ。また、O Bの先輩方や姉妹J Cである奈良青年会議所との交流を通して、郡山青年会議所の歴史と伝統を学ぶ。総務スタッフは新入会員とともに様々な機会を経験し、そのなかで自身の経験・知識を伝え指導することにより、互いに気づきと学びを得ることができる。

総務委員会一人ひとりが積極的に青年会議所運動・活動に取り組み多くを学び、仲間と切磋琢磨し続けることで、広い視野を持った地域のリーダーに相応しい人間へと成長する。L O Mの要である総務委員会の成長が組織の土台を強固なものとし、その土台のもと仲間とともに運動に邁進することで、郡山青年会議所の更なる発展、そして笑顔と活気溢れる郡山の実現へとつながる。

### ★事業計画 [開催予定月]

1. 新入会員の教育・指導 [通年]
2. 例会の設営 [通年]
3. 文書発送 [通年]
4. 新年会の設営 [1月]
5. 定時総会の設営 [1月・9月]
6. 会員親睦事業の企画運営 [5月]
7. うねめまつり参加引率 [8月]
8. 奈良公式訪問 [9月]
9. 卒業式の企画運営 [12月]
10. 常任理事会、理事会等諸会議の設営と運営、その他庶務に関する業務
11. 総会資料、会員名簿、名刺の作成
12. 会員拡大に関する情報収集 [通年]
13. その他理事長所信に基づき行う事業

## 1. 新入会員の教育・指導

2021年度は昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の蔓延により、例会や各種会議の設営、各種事業や遠征事業など例年と違ったかたちでの開催や事業中止となった1年であった。うねめまつり踊り流しや奈良公式訪問の中止など、様々な経験を得る機会が失われてしまった一方、総会や会員親睦事業のWEB開催など例年経験できないことも経験できた年でもあった。一年間を通して、決して多くはない機会であったが、切磋琢磨のスローガンのもと自ら考え、互いに助け合い行動することで自己成長へ繋げることができた。

## 2. 例会の設営

### ① 1月例会

2021年度初めての例会設営がWEB上での例会となったが、実際の開催と変わらぬ緊張感を持ち取り組むことができた。柳沼理事長より「共奏 ～共に創ろう 笑顔と活気溢れる郡山の未来を～」のスローガンのもと、本年度に懸ける想いの詰まったご挨拶をいただき、そして会務報告では各委員長より今年一年の方針や委員会スローガン、委員長の想いが発表され、意識の共有を図ることができたと実感した。設営に関してはハリハサル不足や確認ミスも見受けられ、改めて事前準備の重要性を認識させられる内容となった。

### ② 2月例会

2月例会は今年初の現地開催で、そして新入会員にとって初めてセレモニーを担当する例会でもあり、良い緊張感をもって臨むことができた。設営に関しては、コロナ禍という状況下であったが、昨年の報告書を参考に対策をし、また準備時間を多くとったことにより大きなミスなく進行できた。しかしながら、改善点は少なからず見受けられた。現地開催の難しさを実感した例会となった。

### ③ 3月例会

今年2度目の例会設営ということで、新入会員・総務スタッフ共にやるべきことを考えながら率先して設営を行うことができた。また、コロナ禍の状況ではあったが、皆様のご協力のおかげで対策も十分に行いながらスムーズに進行することができた。本例会から60周年実行委員会と東北青年フォーラム in 郡山実行委員会の会務報告が加わり、重要度がより一層増す例会であった。

### ④ 4月例会

現役会員とOB会会員の先輩方と交流の場として、コロナ禍の状況ではあったが多くのOB会会員の方々に参加いただき開催することができた。急遽開催方法の変更があったとはいえ、改善すべき点は多々あり、今後の新しい課題が見つかる例会となった。

### ⑤ 5月例会

福島県の非常事態宣言を受け、急遽開催方法をWEBへ変更しての実施となった。手法は変更となったが、現地開催と変わらぬ効果を得られたと考える。会務報告や出向者報告を通して意識の共有を図ることができた。一部回線の不具合があったが、過去のWEB事業の反省点を活かし、スムーズに対処することができた。何より、メンバーの皆様にご協力いただき無事に開催することができた。

### ⑥ 6月例会

引き続きコロナ禍の状況下での例会であったが、検温や消毒、また開会前や閉会后など様々な場面でメンバーの皆様にご協力いただき無事開催することができた。設営に関しては細かいミスが見受けられ、総務スタッフ、新入会員共に悪い意味での慣れが出てしまったと感じる場面があった。しかしながらそのミスを自発的に動くことで修正した点におい

ては、委員会の成長を感じることができた例会であった。

#### ⑦ 7月例会

7月例会では通常の例会に加え、次年度理事長候補者への当選証書授与が行われるということで、終始良い緊張感をもって臨むことができた。多くのOBの先輩方をお迎えし、例会の設営を行うことができ総務委員会全員にとっても非常によい経験となった。また、コロナ禍の状況ではあったが、皆様のご協力のおかげで対策も十分に行いながらスムーズに進行することができた。

#### ⑧ 8月例会

郡山市が8月23日に新型コロナウイルスまん延防止等重点措置区域に指定されたことにより、急遽開催方法をWEBへ変更しての実施となったが、実地開催と変わらぬ効果を得られたと考える。東北青年フォーラムin郡山が間近に迫るなか、例会部分では理事長挨拶をはじめ、会務報告や出向者報告を通して意識や情報の共有を図ることができた。一部音声の不具合があったが、すぐに自ら対処したことで大事には至らなかった。その点からも新入会員の成長を感じることができた例会であった。

#### ⑨ 9月例会

9月例会は新型コロナウイルス感染拡大防止対策から、例年と違う会場での開催と、次年度へ繋がる重要な一日ということもあり、入念にリハーサルを行うなど良い緊張感を持って臨むことができ、その後に控える9月定時総会にスムーズに繋げることができた。

#### ⑩ 10月例会

10月例会では、例会設営にあたり新入会員自ら率先して行動して準備したことで、時間に余裕もって例会に臨むことができた。また本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、現役メンバー間でのコミュニケーションを図る機会が少ない状況のなか、例会終了後に会場を開放したことによって、コミュニケーションを図る機会とすることができ、総務委員会にとっても非常によい経験となった。

#### ⑪ 11月例会

郡山市労働福祉会館での例会は2回目ということもあり、事前準備の段階から新入会員、総務スタッフ各々が自分の役割を意識し臨むことができ、当日も滞りなく例会を開催することができた。また、例会前に行なわれた久米賞・百合子賞授賞式、講演会においては与えられた役割以上のことを臨機応変に対応することが求められ、各自が状況を見ながら能動的に設営に当たることの重要性を改めて感じさせられた機会となった。

#### ⑫ 12月例会

2021年度最後の例会ということで、多くのメンバーとOBの先輩方にご出席、ご協力いただき、厳かな雰囲気の中で開催することができた。設営においては本年度の最後の事業ということもあり、集大成とすべく緊張感を持って設営を行った。新入会員やスタッフは、自らが能動的に設営を行い、1年間の成長を感じることができる例会であった。しかしながら、確認不足やリハーサル不足によるミスが見受けられ、リハーサルの重要性を改めて痛感させられる例会となった。

### 3. 文書発送

毎月15日を基本とし、OB会会員、現役会員に事業案内等の文書、広報誌を発送した。

### 4. 新年会の設営

2021年1月12日に福島県より新型コロナウイルス感染拡大防止対策として外出自粛、営業時間短縮（1月13日～2月7日）の協力要請があり、新年会の開催を断念した。なお、1月20日に柳沼理事長からの新年のご挨拶動画を郡山青年会議所ホームページにて配信開始した。

## 5. 定時総会の設営

### ① 1月定時総会

1月定時総会は初めてのWEBを利用した総会となった。議長に丸山雄平君、副議長に鈴木章弘君を選任し、スムーズな議事進行のもと2020年度の事業報告や決算報告をはじめとする重要な議案が全員賛成で審議可決いただくことができた。設営に関してはハーパー不足や確認ミスも見受けられ、改めて事前準備の重要性を認識させられる内容となった。

### ② 9月定時総会

9月定時総会では、新型コロナウイルス感染症対策として例年と違う会場での開催であったが、良い緊張感を持って臨むことができた。OB会会長をはじめとする多数のOB会会員の先輩方がご参会のなか、小桧山亮太議長、鈴木厚志副議長の議事進行のもと、本年度の補正予算、次年度の役員、監事の選任といった重要な議案を全員賛成にて可決承認いただき、無事に2022年度のスタートを切ることができた。

### ③ 12月臨時総会

12月臨時総会は丸山雄平議長、菅野浩二副議長の議事進行のもと2021年度事業計画、2021年度収支予算について全員賛成にて可決承認いただいた。卒業式、送別会と同日開催ということで早い時間帯の集合であったが、それにも関わらず多くのメンバーにご参加いただいた。設営においては、3回目の総会ということもあり一人ひとりが役割を意識して能動的に行動し、大きな問題なく終えることができた。

## 6. 会員親睦事業の企画運営

当初開成山陸上競技場にて5月例会と共に開催を予定していたが、5月14日に要請のあった福島県新型コロナウイルス感染症緊急特別対策（5月15日～31日）を受けてWEBでの開催と変更した。創立60周年事業、東北青年フォーラムin郡山の開催を控える本年はこれまで以上に体力が必要とされることから、「JCI郡山健康塾」と銘打って自身の体力を認識し、改善するためのトレーニング方法を配信した。開催方法は変更となったものの、新入会員にとって初めて自らが企画、実践する機会としてとても貴重な経験となった。

## 7. うねめまつり参加引率

本来であれば一般社団法人奈良青年会議所のメンバーの皆様をお迎えして郡山青年会議所のメンバーと交流を図る機会であったが、新型コロナウイルス感染症の蔓延によりうねめまつり踊り流しが中止となり、うねめまつり参加引率自体も中止となった。

## 8. 奈良公式訪問

新型コロナウイルスの蔓延により奈良の采女祭りは花扇奉納神事のみ斎行され、奈良公式訪問も中止となった。うねめまつり参加引率に引き続き、姉妹JCの絆を深める絶好の機会が失われ非常に残念であった。

## 9. 卒業式の企画運営

ご卒業生8名に対してこれまでのJC活動に対する感謝と敬意の心を持ち開催し、ご卒業

生のこれまで活動してきた想いを伺える貴重な時間となった。昨年から引き続いてのコロナ禍での開催ということで、例年と若干設えを変更し開催したが、多くのメンバーの皆様とOBの先輩方にご参会、ご協力いただき盛大に開催することができた。設営においては、シミュレーション不足からのミスが見受けられた。改めて事前準備の重要性を痛感する機会となった。

10. 常任理事会、理事会等諸会議の設営と運営、その他庶務に関する業務  
毎月開催された常任理事会と理事会の設営、議事録作成を行なった。

11. 総会資料、会員名簿・名刺の作成  
定時総会、臨時総会、会員名簿、名刺の作成を行なった。

12. 会員拡大に関する情報収集  
新たな情報を持っている新入会員を中心に情報収集や声かけなど積極的に行った。

13. その他理事長所信に基づき行う事業  
「切磋琢磨」をスローガンに、総務委員会一丸となって一年間運動に邁進してきた。新入会員は毎月の例会設営や各種会議、セクレタリーや各種事業などから年会議所運動の趣旨や目的、そしてまちづくり、ひとづくりについて学ぶことができた。また、総務スタッフも新入会員とともに様々な機会を経験し、そのなかで自身の経験・知識を伝え指導することにより、より広い視野を持った人材へと成長することができた。一年間を通して、思い通りにできた部分、中止や変更となってしまった部分があり、例年よりも得ることのできる経験自体が少なくなってしまうのは事実である。しかしながら、本年だからこそ経験できたものもあったことも事実である。何よりも「なぜ行うのか」という物事の目的を見つめ直すきっかけとなった一年であった。委員会メンバー全員がこの経験を前向きに捉え、次年度以降もより一層JC運動、活動に邁進し、地域のリーダーに相応しい人間になると確信している。最後に、このような貴重な機会をいただいた柳沼理事長、金山専務、そしてご協力いただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

## 2021年度 会員開発委員会

委員長 佐久間 悠治  
副委員長 増子 千晶  
副委員長 吉田 一成

### ★委員会スローガン

# つたえる

～同志の輪を広げよう～

### ★事業方針

「青年会議所しかない時代」から「青年会議所もある時代」となり組織の選択肢が増え、入会3年以内の会員が過半数を超え会員の経験不足問題が顕在化している。我々の目指す「明るい豊かな社会」の実現のためには、社会や人々から求められる魅力ある組織となり、LOM一丸となって資質の向上と会員拡大を進めていく必要がある。

会員開発委員会では、OB会会員との交流やJC運動・活動の意義について学ぶ機会を提供し、青年会議所の歴史や伝統、価値観を学び、会員としての資質向上を図る。また、新入会員候補者との交流を通じて、会員が自らの言葉で組織の魅力や有用性を伝えることで当事者意識を醸成し、一人ひとりが積極的に関わることで会員拡大につなげる。

会員一人ひとりが資質向上に取り組み、自らの役割と会員としての自覚を持つことで魅力ある人財に成長し、その運動・活動が郡山青年会議所の魅力となる。そして、その魅力をつたえていくことで、まだ見ぬ同志への共感となり、会員拡大と持続可能な組織へつなげる。

### ★事業計画〔開催予定月〕

- |   |      |
|---|------|
| 1. 新入会員オリエンテーション<br>並びに現役会員向けセミナーの実施（室合同） | 〔2月〕 |
| 2. 4月例会・現役会員とOB会会員の活動報告会の企画・運営            | 〔4月〕 |
| 3. 現役会員向けセミナー                             | 〔7月〕 |
| 4. 全国大会宇都宮大会参加引率                          | 〔9月〕 |
| 5. OB会会員との交流                              | 〔通年〕 |
| 6. 新入会員候補者との交流                            | 〔通年〕 |
| 7. 会員拡大及び会員拡大の取りまとめ                       | 〔通年〕 |
| 8. 会員拡大に関する情報収集                           | 〔通年〕 |
| 9. その他理事長所信に基づき行なう事業                      | 〔通年〕 |

参考：会員募集スケジュール

※面接等個別に進められることは随時対応する。

- |           |   |
|-----------|---|
| 2020. 12月 | 会員拡大用候補者リスト作成及びリスト精査  |
| 2021. 1月  | 個別目標設定・各委員会への候補者紹介ご依頼<br>リスト作成・配布開始・個別面談・面談実行<br>(新入会員候補者・現役会員・OB会員に配布) |
| 2月        | 個別面談・面接実行   |
| 3月        | 会員拡大会議・個別面談・面接実行  |

- 4月 個別面談・面接実行
- 5月 個別面談・面接実行
- 6月 会員拡大会議・個別面談・面接実行
- 7月 個別面談・面接実行
- 8月 会員拡大会議（女性候補者との交流）・個別面談・面接実行
- 9月 個別面談・面接実行
- 10月 会員拡大会議（候補者との交流）・個別面談・面接実行
- 11月 個別面談・面接実行
- 12月 個別面談・面接実行・次年度への引継ぎ

#### ★事業報告

##### 1. 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向けセミナーの実施

新型コロナウイルス感染防止のために宿泊開催ではなく新しい形での開催ではあったが、多くのメンバーにご協力いただき無事に開催することができた。OBの諸先輩方との交流を行うことができず、諸先輩方から歴史と伝統、価値観を学ぶ機会はなかったが、基礎研修を通して郡山青年会議所の歴史と伝統の一端に触れることができ、OBの諸先輩方が行ってきた功績を知る機会とすることができた。全体を通して新入会員がJC運動・活動の意義や歴史を学び、自らの役割を理解し積極的に行動するメンバーとなるきっかけとなり、そしてZOOMを利用したWEBセミナーを開催し、多くの学びを得る場となった。

##### 2. 4月例会・現役会員とOB会会員の活動報告会の企画・運営

4月例会並びに現役会員とOB会会員の活動報告会という形での開催となり飲食を伴わない設えになったが、OBの諸先輩方に新年会で行うことができなかつた理事メンバーや新入会員の紹介をする場を改めて設けることができた。先輩諸氏との交流に関しては、新型コロナウイルス感染防止対策を重視した事により、深い交流は叶わなかったが、理事長挨拶とOB会長挨拶の中で、「明るい豊かな郡山の実現」に向けてどう活動していくかという意見を互いに伝える事ができた。

##### 3. 現役会員向けセミナー

講師にアチーブメント株式会社の高木謙治氏をお呼びし、「郡山の未来を切り開くリーダーとは」というテーマでセルフカウンセリングという手法を用いて青年会議所運動・活動を何のために誰のために何故活動しているのかを考える場を提供することができた。セミナーを通して一人ひとりがJAYCEEとして何をすべきか自覚し、自らの行動や言動によって郡山青年会議所の魅力を発信できる人財となるきっかけとなる場となった。

##### 4. 全国大会宇都宮大会参加引率

本年は、「真に持続可能な輝ける未来へ」のスローガンのもと、とちぎ宇都宮の地で開催された全国大会であった。新型コロナウイルス感染防止対策として抗原検査など例年にはない取り組みが行われ、会場の感染対策や入場制限など、次年度以降に大いに役に立つ気づきと学びを得る機会となった。

##### 5. 会員拡大及び会員拡大の取りまとめ

今年度は、各委員会から新入会員候補者の情報からリストを作成し会員拡大運動を展開した。OB会の諸先輩方や現役会員のご協力をいただき、昨年度からの引き継ぎも合わせて111名の候補者情報を頂戴することができた。年当初は新型コロナウイルス感染防止の観点から思うように面談等を行うことが出来なかったが、年末にかけて各委員会と連携し候補者の近況などの情報をいただき、多くの面談を行うことができた。拡大に関しては29名の計画であったが、結果11名入会と会員拡大を達成することができなかったが、拡大を通



して多くの青年経済人に青年会議所の魅力を伝えることで会員一人ひとりが青年会議所の魅力を再認識してもらうことができたと確認している。

#### 6. その他理事長所信に基づき行なう事業

2021年度は「つたえる～同志の輪を広げよう～」の委員会スローガンのもと会員が歴史と伝統を学び、郡山青年会議所の魅力を一人ひとりが自らの言葉で伝え、会員拡大に繋げていくことを目的として運動・活動を展開した。ウイルス感染対策としてWEBを利用したセミナーなど新しい形での運営方法を学び、次年度以降に活用できる情報を残すことができた。会員拡大については目標であった29名に対して、11名と満足する結果には至らなかったが、女性会員2名の拡大をすることができ新しい可能性を迎えることができた。一年の活動を通して会員の当事者意識と郡山青年会議所の魅力を一人ひとりが伝え続けることの重要性和OBの諸先輩方との交流を通しての歴史と伝統の継承の重要性を改めて実感した。

最後に皆様からの年間通してのご協力と、このような機会をいただけたことに心より感謝申し上げます。

## 2021年度 広報委員会

委員長 坂本 皓亮  
副委員長 黒田 大輔

★委員会スローガン

# つなげる

～共感と信頼溢れる未来へ～

### ★事業方針

近年の急速なICTの進化によって、誰もが気軽に情報発信が出来るようになり、多くの情報が飛び交うようになった。そのため情報量の多さと情報の速度により、必要とする情報が埋もれてしまう弊害が生まれつつある。郡山青年会議所が行う運動や歴史ある事業に込めた想いを市民へ適切に伝え、共感と信頼を得るためには今まで以上に継続的に情報を発信する必要がある。

広報委員会では、公益法人格を有する団体として必要な情報および我々が行う運動をホームページや各種SNSで発信するだけでなく、様々なこおりやまの魅力を継続的に発信する。また、外部団体とも連携し情報を相互発信することで、より一層市民へ多角的に情報発信を展開する。メンバーには情報発信に必要なリテラシーを周知し、情報発信者としての責任と自覚を醸成していく。また、「久米賞・百合子賞」では、時代に合ったツールを加え、より多くの子どもたちが文学を通し、表現する機会を増やすことで事業の発展につなげる。

会員が適切な知識を待ち多角的な情報発信を継続して行うことで、市民に共感と信頼の輪が広がり、我々の運動が浸透し、明るい豊かな社会へとつながる。

### ★事業計画〔開催予定月〕

- |   |             |
|---|-------------|
| 1. 新入会員オリエンテーション並びに<br>現役会員向けセミナーの実施（室合同） | 〔2月〕        |
| 2. 第60回「久米賞・百合子賞」実行委員会の設置                 | 〔2～12月〕     |
| 3. 広報誌発刊                                  | 〔1・5・8・12月〕 |
| 4. サマーコンファレンス参加引率                         | 〔7月〕        |
| 5. 11月例会の運営・第60回「久米賞・百合子賞」授賞式             | 〔11月〕       |
| 6. ホームページ企画・運営・管理                         | 〔通年〕        |
| 7. メールアドレス・メーリングリストの管理                    | 〔通年〕        |
| 8. SNSの運営・管理                              | 〔通年〕        |
| 9. LOM事業の取材                               | 〔通年〕        |
| 10. 会員拡大に関する情報収集                          | 〔通年〕        |
| 11. その他理事長所信に基づき行なう事業                     | 〔通年〕        |

### ★事業報告

1. 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向けセミナーの実施（室合同）

新型コロナウイルス感染症の影響により、1日での開催となったが、基礎研修を通して、新入会員に青年会議所の運動・活動の意義を伝えることができた。VMVセミナーにおいては公益社団法人日本青年会議所ヘッドトレーナーの立川玲奈先輩によるリモートセミナー

一を開催した。新入会員をはじめ、参加した現役会員の資質向上につながる事業となったと感じた。

## 2. 第60回「久米賞・百合子賞」実行委員会の設置

本年度で60回目を迎えた「久米賞・百合子賞」であるが、小説35作品、詩50作品、総数85作品の応募をいただいた。百合子賞小説部門から正賞が輩出することができた。昨年度に続き、本年度も新型コロナウイルス感染症の影響により例年とは一部違った流れでの開催となったが、第60回「久米賞・百合子賞」を無事に開催することができたことを嬉しく思う。しかし、各学校への告知をはじめとする久米賞・百合子賞についての周知に関して行き届かない点など反省点が多数存在した。

## 3. 広報誌発刊〔1・5・8・12月〕

「Harmony」のタイトルで郡山青年会議所の想いを多くの人々に伝えることを第一に広報誌の発刊に取り組んだ。本年度は創立60周年と東北青年フォーラムについて発信を行った。それぞれ、HPとの連動や開催情報を入れるなどを行い、我々の運動に対する共感の輪を広げることができた。

## 4. サマーコンファレンス参加引率

今年のサマーコンファレンスは新型コロナウイルス感染症の影響により、ハイブリットではあるが実質的にはWEBでの開催となった。今回の大会コンセプトとして「地域の希望をもたらす変革の起点として輝く個性が調和する未来を描くサマコン」を掲げており、参加したメンバーに全国の質的価値を生み出す地域、企業、ひとの輝きをあらゆるカウンターパートと共に創り持続的なイノベーションを起こす機会となった。

## 5. 11月例会の運営・第60回「久米賞・百合子賞」授賞式

今年も新型コロナウイルス感染症の影響下での開催になったが、受賞した生徒さんの頑張りを表彰する場を設けることができた。また、本年は記念講演として永松茂久氏に講演いただき、将来の進路考える中学3年生の応募者に夢を持つことの素晴らしさを伝えることができた。しかし、告知活動が参加者増加に繋がらなかったこと、講師選定についての過程、当日の人員配備の状況など様々な問題点があった。

## 6. ホームページ企画・運営・管理

様々な情報発信ツールを用いることで、多くの人々に我々の運動を発信することができた。しかし、他団体との相互発信やメンバー一人ひとりに対して情報リテラシーの周知など、実施しきれなかった内容が複数あったため、より多くの人々に運動を発信しきることができなかった。

## 7. メールアドレス・メーリングリストの管理

2021年度青年会議所内で使用するメーリングの作成と管理を行った。

## 8. SNSの運営・管理

Facebook、twitter、Instagramを用いての広報活動を行った。本年はSNSを情報の入り口として興味を引きやすくするために、文章を短くしながらも写真や画像を多くして、ハッシュタグによる拡散性を高めて発信した。しかし、事業が集中した時期では迅速な発信ができなかった。

## 9. LOM事業の取材

LOM内の各種事業の風景の撮影、取材活動を行った。写真はその場の状況が伝わりやすくなるように配慮した。また、各委員会と連携して事業の告知なども行った。

#### 10. 会員拡大に関する情報収集

ホームページ上で会員拡大につなげるために募集要項を掲載した。また広報誌を会員開発委員会が新入会員候補者に配れるよう調整をした。

#### 11. その他理事長所信に基づき行なう事業

「つなげる～共感と信頼溢れる未来へ～」の委員会スローガンのもと郡山青年会議所の運動・活動への想いをホームページ、SNS、広報誌を用いて発信することで、我々と市民との間に信頼と共感が溢れるよう取り組んできました。多くのメンバーの協力もあり、非常に多くの人々に発信することができましたが、その際には多大なるご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

一年を通して人に想いを伝えることの大変さと大切さを学ぶことができました。黒田副委員長をはじめとする委員会メンバーには毎度助かられてばかりで、非常に恵まれた環境で委員長をやらせていただきました。

最後に、この貴重な経験をさせていただきました柳沼勝恵理事長、金山慶一専務理事におかれましては深く感謝申し上げます。

## 2021年度 まちづくり委員会

委員長 織田 陵平

副委員長 武田 淳

### ★委員会スローガン

## Ensemble

～楽都郡山から奏でる未来への響き～

### ★事業方針

新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により先行きの見えない状態が続き、人を集めて行う行事やイベントも停滞する中で、まちに笑顔と活気が失われ閉塞感が漂っている。このような現状を打破し、多くの人びとに笑顔と活気を取り戻す運動を一層展開していく必要がある。

まちづくり委員会は、郡山が誇る音楽文化をベースに市民や各種団体と協力し、多くの人びとを巻き込み一体となり、世代や文化、地域の垣根を超え、新しい時代に即した音楽共奏の起点となる事業を展開する。そして、これまで戦後復興や震災復興の際に音楽の力で地域活性を生み出してきた郡山の先人たちの歴史や知恵を広い世代に伝え、市民が主体となり創り上げてきた音楽文化活動をあらゆるものとの架け橋にしていく。その運動を楽都郡山から東北各地へ響かせることでまちを取り巻く閉塞感を打破し、活力を取り戻すきっかけとする。

この運動を通して、多くの市民が新しい時代の楽都郡山の誇る音楽文化の可能性に希望と夢を持ち、人びとの輪が大きく響き合う笑顔と活気溢れる郡山の未来への創造へとつながる。

### ★事業計画 [開催予定月]

- |                      |      |
|----------------------|------|
| 1. 京都会議参加引率          | [1月] |
| 2. 音楽事業              | [9月] |
| 3. 会員拡大に関する情報収集      | [通年] |
| 4. その他理事長所信に基づき行なう事業 | [通年] |

### ★事業報告

1. 京都会議参加引率

2021年度の京都会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により全てのファンクシ

ョンがWEB開催となった。当初計画していた開催内容は変更とはなったが、時代に即した形での発信を各自視聴することで多くの気づきと学びを得る機会となった。また、日本青年会議所の基本理念や会頭所信を共有することで、今年一年の方針を享受するとともに、ニューノーマルのなかでのJC運動・活動の指針を強く意識する機会となった。引率は叶わなかったが、メッセージアプリを用いリアルタイムで各ファンクションを都度お知らせし、多くのメンバーにご視聴いただき無事に終えることができた。

## 2. 音楽事業

「MUSIC TOMORROW KORIYAMA」を開催した。地域で活躍するミュージシャンや音楽団体による演奏、動画による合唱とMay. J氏を迎えての「未来へつなぐメッセージ」の再演等、実地と動画配信のハイブリッドによる手法で音楽の持つ力を活用し、来場者、出演者、視聴者と幅広い世代の方々が笑顔となり活力を見出す機会となった。そして東日本大震災から10年を迎えた本年、本事業が改めて復興への思いを寄せるきっかけとなり、東日本大震災福島県義援金の募金に多くのご賛同をいただき、浄財を寄付することで震災復興への一助となった。実地開催に当たっては、徹底した感染症対策を講じ、感染者も出ず事故等もなく無事に終演できた。また、動画配信により実地での開催のみでは望めなかった多くの方々に視聴いただくことで、市内はもとより地域の垣根を越え、時代に即した形で郡山青年会議所の運動を発信することができた。

## 3. 会員拡大に関する情報収集

候補者紹介や情報共有を図り、その他会員拡大に関する議論を委員会内で交わした。また、当委員会が開催した事業「MUSIC TOMORROW KORIYAMA」では、WEB配信も含め多くの方々に発信することで郡山青年会議所の運動・活動のPRとなった。また、事業に協力いただいた企業の方々へ我々の行う事業や運動の内容を周知したことで会員拡大につながった。

## 4. その他理事長所信に基づき行なう事業

本年は新型コロナウイルス感染症の影響により状況が刻一刻と変化するなかで事業開催判断が難しい状況ではあったが、郡山の宝である音楽を通しこの困難な時代を乗り越えるために協議を重ね開催に至ることができた。合唱動画と実演のハイブリッド演奏やマスクを着用しての合唱等、時代に即した形で発信の場を提供し、来場者、動画視聴者共々に音楽の力を感じていただきまちづくり運動を展開できたことは、郡山青年会議所現役会員を中心に多くの関係諸団体の皆様のご協力の賜物と実感している。まちの宝を利用し多様なまちづくり運動を展開していくことが魅力の発信につながり、我々の使命であると感じた。反省すべき点も多くあり、今回の事業を次年度以降に最大限に活かすためにしっかりと検証し、笑顔と活気溢れる郡山の創造へとつなげていく。

最後に、事業にご協力くださったメンバーの皆様、このような機会を与えてくださった柳沼理事長、金山専務に心より感謝申し上げます。

## 2021年度 青少年育成委員会

委員長 佐藤 研一

副委員長 飯島 悠希

### ★委員会スローガン

# 未来へ

～過去を知り、今を生きる～

### ★事業方針

昨今、世の中を取り巻く環境が大きく変化し、災害大国としても一人ひとりの意識や役割、地域との関わり方が見直されている。それは未来を担う子どもたちも同様である。防災教育の分野では学校や家庭、行政など単独で行うことが多く、国の研究結果においても総合防災教育が出来ていない課題があるため、総合的に理解を深める機会が必要である。

青少年育成委員会では、過去の困難を学び、知識教育と体験教育の両面から総合的に理解することで、環境の変化に応じた判断能力の向上へとつながる事業を行う。また、わんぱく相撲を通じて勝敗だけでなく、相手を思いやるこころを育み礼節を学ぶ機会を提供する。

子どもたちは学ぶ側だけでなく、年齢が上がるに従い教える側に立つこともある為、子から親、家庭から地域へと伝え、将来的に地域を担う子どもたちが環境の変化を受け入れ、しなやかに対応できるレジリエンスを身につけることで、次世代のリーダーへと成長し未来への希望溢れる郡山の創造へとつながる。

### ★事業計画〔開催予定月〕

1. 第56回郡山市こどもまつりへの参画 [5月]
2. わんぱく相撲郡山場所・福島ブロック場所の開催  
全国場所・全国女子場所への参加引率 [5月～11月]
3. 福島ブロック大会 in 相馬参加引率 [7月]
4. 青少年育成事業の開催 [9月]
5. 会員拡大に関する情報収集 [通年]
6. その他理事長所信に基づき行う事業 [通年]



#### ★事業報告 1.「第56回郡山市こどもまつり参加」

本年は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、実地での開催ではなく動画コンテンツ配信という新しい形の「こどもまつり」となった。親子で楽しみながら学ぶことを目的に、防災に関する問題をクイズ形式で出題することにより、災害という不測の事態に対し、子どもの目線でも防災を学び、行動出来るための準備や意識付けを促進することができた。また、配信期間中は7500回を超える視聴数となり、今回の動画コンテンツ内では最多の視聴回数となった。今年度新しいかたちの「こどもまつり」に参加したことにより、今後の青年会議所活動・運動において従来とは異なる可能性を感じるすることができた。動画コンテンツの配信にあたり、多くのメンバーの視聴とSNSによる拡散共有をいただき無事に終えることができた。

#### 2.「わんぱく相撲こおりやま場所・福島ブロック大会開催及びわんぱく相撲全国大会・女子全国大会参加」

本年は新型コロナウイルス感染拡大により、こおりやま場所の中止、福島ブロック大会では入場を制限しての開催、全国大会ではさらに入場条件を厳しくしての開催となった。前例のないなかで、直前まで運営方法の調整や参加者の意思の確認が行われての開催となったが、郡山から全国大会へ出場した2名の選手においては、困難な状況での目標に向けて努力することの大切さや相手への思いやり、支えてくれる家族や指導者への感謝の気持ちを育成することができた。

#### 3.「第51回福島ブロック大会 in 相馬参加引率」

本年は、「WE CREATE, OUR FUTURE～始まりの地から、福島未来へ向かって～」のスローガンのもと、相馬の地で開催された福島ブロック大会であった。新型コロナウイルス感染拡大が広がる中のブロック大会であったが、多くのメンバーに参加いただき、多くの気づきと学びを得ることができた。また、ブロック協議会へ出向しているメンバーを応援することができ、9月に東北青年フォーラムを主管するLOMとして福島ブロック協議会にも郡山JCの意欲を示すことができた。

#### 4.「つなげよう！共に創る未来への防災バトン～リモート型防災アトラクション～開催」

本事業開催において昨年から続く新型コロナウイルス感染拡大にともない事業計画が幾度も変更となったが、防災トークショー、リモート型防災アトラクションともに多くの方々に視聴、体感していただくことができた。昨今、世の中を取り巻く環境が大きく変化し、災害大国としても一人ひとりの意識や役割、地域との関わり方が見直されている中で、防災について総合的に理解を深め、過去の困難を学び、知識教育と体験教育の両面から総合的に理解することで、環境の変化に応じた判断能力の向上へと繋げることができた。

#### 5. 会員拡大に関する情報収集

青少年育成の事業を通じて、新入会員候補者の情報を収集し、積極的に会員拡大のため声掛けを行い、情報共有を図った。

#### 6. その他理事長所信に基づき行なう事業

本年は「未来へ～過去を知り、今を生きる～」の青少年育成委員会スローガンのもとに、子どもたちに対し生きる力を養う機会を提供することで次代に羽ばたく未来の宝を育むことを目標に青年会議所運動活動を展開した。新型コロナウイルス感染拡大により各事業が当初の計画より変更

になる中で、委員会メンバーと話し合いコロナ禍の中でも開催できる事業を行うことができた。また、事業を成功に終えることができたのは開催が難しい中で決断していただいた常任理事の皆様やLOMメンバーの皆様にご支援ご協力いただいたからこそだと思っている。最後になるがこのような貴重な機会を与えてくださった柳沼理事長、そして金山専務に心から御礼を申し上げる

## 特別委員会報告

### 選挙管理委員会

委 員 長	大 槻 俊 介
委 員	丸 山 雄 平
委 員	鈴 木 厚 志
委 員	嶋 原 和 義
委 員	渡 邊 周 人

公益社団法人郡山青年会議所令和4年度理事長選挙に先立ち、6月11日に第1回選挙管理委員会を開催し、委員の互選にて正副委員長を選出した。

「公益社団法人郡山青年会議所定款」第29条並びに「公益社団法人郡山青年会議所役員選出に関する規定」に基づき、下記日程の通り選挙を実施した。

1. 選挙告示文書の発送 7月02日
2. 令和3年度選挙人名簿の作成 7月10日
3. 第3回選挙管理委員会 7月15日
4. 選挙権・被選挙権を有しない会員への告示文書の発送 7月15日
5. 立候補届出受理期間 7月13日～15日

結果、久保田雄大君1名の立候補があり、「公益社団法人郡山青年会議所役員選出に関する規定」第13条に従い、厳正なる審査の結果、久保田雄大君を当選人とし、7月16日をもって当選告示し、7月20日の公益社団法人郡山青年会議所7月例会の席にて当選証書を授与した。また、9月24日の9月定時総会にて、当選人の報告をした。

### 褒賞委員会

委 員 長	柳 沼 克 郎
委 員	樽 川 明 広
委 員	川 村 憲 司
委 員	久 保 田 雄 大
委 員	安 齋 元 喜

公益社団法人郡山青年会議所褒賞規定に基づき、厳正かつ公平な審査を行い下記のとおり各褒賞受章者を決定し、12月15日の12月例会の場において表彰を行った。

審査においては委員会・例会・各種事業の出席率、日本J C・東北地区・福島ブロックにおける遠征事業への参加、新入会員のセクレタリー回数など客観的な数字データと、各室長ならびに各委員長から提出された申請書の推薦理由を総合的に評価したうえで、褒賞委員会における厳正なる審査によって選出した。

審査においては、本年も新型コロナウイルス感染拡大の影響が尾を引き事業数こそ例年通りとはいかなかったものの、ニューノーマルな時代に即した様々な手法で開催された事業に対してメンバーの公正公平な審査が求められた。

褒賞においては理事長特別賞も設けていただき、多くのメンバーを対象に現役会員の意識の向上を図るとともに対内の活性化に繋げることができた。

本年の選考にあたり、各室長ならびに各委員長をはじめとする皆様に心から御礼申し上げるとともに、受賞者をはじめとする現役会員の皆様の益々のご活躍をご期待申し上げ、報告とする。

## 記

【最優秀 J A Y C E E 賞】	高橋 章太	君
【優秀 J A Y C E E 賞】	堀川 武尊	君
	大越 惇平	君
	菅野 展寛	君
【最優秀グループ賞】	青少年育成委員会	
【優秀グループ賞】	まちづくり委員会	
【優秀新人賞】	山田 健人	君
	中嶋 拓歩	君
【理事長特別賞】 新人賞	圓谷 紀幸	君
個人賞	佐久間 郡	君
個人賞	丸山 雄平	君
【10年表彰】	川村 憲司	君
	二瓶 一嘉	君
	山本 将司	君

以上

## 会員選考委員会

委 員 長	芝 田 銀 平
委 員	大 槻 俊 介
委 員	伊 藤 千 拓
委 員	佐 久 間 悠 治
委 員	小 桧 山 亮 太
委 員	大 橋 俊 博
委 員	二 瓶 一 嘉

本年度は、入会候補者の意思が確認された後に、速やかに面接及び会員選考委員会を開催

した。面接は公益社団法人郡山青年会議所会員資格規則第2章正会員の入会に基づき行い、会員選考委員会にて厳正に審査を行った。その結果として、2022年度の正会員として新入会員10名を当青年会議所の会員として適格と認め理事会にて承認をいただいた。

なお、2022年度正会員の新入会員は以下の通り。

小林 聖君、橋本 直樹君、石黒 恵太郎君、土屋 繁太郎君、渡邊 千代子君、斉藤 一紀君、紀乃 知佳君、飯沼 英俊君、高橋 祐樹君、菅 洋滋朗君

#### 東北青年フォーラム in 郡山実行委員会報告

実行委員長 久保田 雄大

2021年度で第69回目となる東北青年フォーラムは、公益社団法人郡山青年会議所を主管LOMとして「未来を切り拓け！～開拓者精神で共に奏でよう！東北六重奏～」のスローガンのもと、東北青年フォーラム in 郡山と題して9月4日から5日にかけて開催した。主催者である公益社団法人日本青年会議所東北地区協議会においては、役員のみ体制という大幅な組織変更が実施されたが、主催・主管が一丸となり大会構築に向けて全力で取り組んだ。新型コロナウイルスや福島県沖地震などの影響を大きく受け、度重なる変更を余儀なくされる中で、最終的には東北各地会員会議所メンバーを郡山の地に迎え入れての開催こそ叶わなかったが、東北青年フォーラム史上初となるWEB配信でのオンライン開催を通して、郡山の魅力を東北中に発信し、未来を切り拓くことができたと確信する。本大会を通して得られた気付きや学びをしっかりと後世に引継ぎ、まずは2022年度東北青年フォーラム in くりはらの成功につなげて参りたい。

最後に、大会構築段階から実施・報告に至るまで多大なるご支援・ご協力を賜りました柳沼勝恵理事長をはじめとする全てのメンバーの皆様へ心より感謝を申し上げ、東北青年フォーラム in 郡山実行委員会報告とさせていただきます。

#### 60周年実行委員会報告

実行委員長 川村 憲司

柳沼勝恵理事長より60周年実行委員長の重責を任命いただき、個人としても最終年度を充実した一年とすることが出来ました。

まずは遠藤友起晴 OB 会会長をはじめといたします郡山青年会議所 OB 会の先輩の皆様におかれましては60周年、東北青年フォーラム in 郡山に際しての特別支援金を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

4月17日に開催されました創立60周年キックオフミーティングに始まり、創立以来の理念と支えてくださった先輩諸氏と数多くの地域の方々への感謝の気持ちをメンバーに伝

えてまいりました。

しかし昨年から続く新型コロナウイルス感染症の猛威は激しさを増すばかりで、本来であれば6月19日に創立60周年記念式典・祝賀会を盛大に催す予定ではあったがご出席されるご来賓の方々の安全を第一にとの観点より非常に残念ながら実地開催の中止という判断をさせていただきました。

予定変更に伴い、ニューノーマル時代を意識した新たな試みとして新聞紙面での一面広告とWEB上での配信という形式で創立60周年記念動画、メッセージムービー、そして創立5周年より脈々と受け継がれてまいりました恒例の口上とJC歌舞伎を発信させていただきました。新たな手法での発信という今まで経験のしたことのない挑戦ではありましたが、日々変わる状況下においても妥協することなく周年の成功という唯一つの目標に向かって全てのメンバーが心を一つに纏まりを見せることができたのは必ずやLOMの大きな財産になると確信します。

また、歴代理事長による座談会、そして記念誌発刊に際しまして多くの広告のご協賛を賜りましたことにも厚く御礼申し上げます。本当に多くの方々に支えられて我々は運動を展開できることを再認識させていただきました。

最後となりますが、本年度は幾度となく「感謝」という言葉をメンバーに伝えてまいりましたが、改めまして柳沼理事長、金山専務をはじめといたします全てのLOMメンバーに心からの敬意と感謝を申し上げます。

これからも笑顔と活気が溢れ、そして愛の溢れる郡山の未来のために運動に邁進してまいりましょう。本当にありがとうございました。

## 出向者報告

(公社) 日本青年会議所

規則審査会議 委員  
東北地区協議会 規則審査室 室長  
新田 義幸

はじめに、公益社団法人日本青年会議所東北地区協議会 規則審査室 室長に出向させていただきましたこと、柳沼勝恵理事長をはじめといたしますLOMメンバーの皆さまに感謝申し上げます。本年度東北地区協議会は「人と歴史が繋がるナレッジマネジメントと共感が飛び交うプラットフォームの構築」を基本理念に掲げ、コロナ禍であっても青年会議所活動を続けられるよう、これまで200名弱いた地区出向者を25名程度に抑え、LOM支援という協議会の最も重要な役割に原点回帰し、裏方に徹した地道な活動に終始しました。

規則審査室としましては財政審査会議における公益審査・コンプライアンス審査を中心に各ブロック担当のコンプライアンスに関する相談窓口として日本・東北地区・ブロックの連携に注視して活動してまいりました。組織改革することで各委員長・室長と連携をスムーズにとれることは良かったが改めて事業を構築する上では委員メンバーの必要性も感じる機会となりました。今回の出向を通して、多くの経験や学び、かけがえのない沢山の仲間ができたことを非常に嬉しく思います。この経験を活かし更に青年会議所の活動・運動に精進してまいります。一年間ありがとうございました。

アカデミー委員会  
総括幹事 柳沼 克郎  
委員 鈴木 章弘  
委員 菅野 展寛

はじめに、本年度公益社団法人日本青年会議所 アカデミー委員会に出向をさせていただきましたことに柳沼理事長をはじめとするメンバーの皆様に感謝申し上げます。

本年度、アカデミー委員会では「輝く個が切り拓く 真に持続可能な国 日本の創造」の基本理念のもと、経験の少ないメンバーがJCの運動やリーダーとしてのスキルを醸成するため、各地ブロック協議会への「アカデミーアカデミー開催」支援、全国のLOMへの「新入会員セミナー開催」支援、そして、次年度理事長予定者に対して理事長職務を担うにあたり必要なスキルとマインドを学んでもらうための「LOMリーダーアカデミー」開催と大きく分けて3つの事業を展開し、これからのニューノーマルな時代において、JCが地域社会にとってなくてはならない存在として運動を展開していくために、各々違ったフェーズにいるメンバーが更なる飛躍を遂げることのできる力を持ってもらうことを目指し一

年間取り組んで参りました。

本年も新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、事業や大会関連もWEBによる開催が多くなり、当委員会もこの環境下で制限された活動となってしまったことは非常に残念ではありましたが、その中でも全国から出向をしている意識の高いメンバーと共に柔軟に事業を構築・対応することを通じて、刻々と変わる環境下での変化に対応する力を身に着けるが出来ました。この出向で得た経験を、今後も青年会議所の運動・活動に活かしていくことをお約束し、出向者報告とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

JC プログラム革新委員会

丸山 雄平

JC プログラム革新委員会への出向という担いを与えて頂きました柳沼勝恵理事長をはじめ、支えて頂きました LOM メンバーの皆様へ改めて厚く御礼申し上げます。

私にとって3回目の日本青年会議所への出向でしたがオンライン開催での委員会、セミナーがほとんどで世の中の変化に対応するのに苦労した1年間でした。

しかし我々の委員会が恵まれていたことは、京都会議、サマーコンファレンス、全国大会と JC プログラム革新委員会のセミナーを主催し、JC 運動活動の理念や理想を余すことなく発信することができたことです。

歴代会頭によるセミナーは私の心を突き動かしました。

各 LOM の縮図として入会歴の浅さによる経験不足、会員数の減少による LOM 弱体化など様々な問題があります。

それは我々 JAYCEE が本来の理念や JC 運動活動の意義を十分に伝えきれていない、我々が「何のためにやるのか？」という目的を理解していないからに他なりません。

JCI-Achieve (JC の意義がわかる)

JCI-Impact (JC が行う事業の仕組みがわかる)

JCI-Admin (JC 組織の仕組みがわかる)

Effective Leadership (リーダーシップ・フォロワーシップがわかる)

ロバート議事法 (時間を無駄にしない会議運営ができる)

Visual Future(目的達成への道筋が明確になる)

マインドマッピング (新しい発想が生まれる)

JAPAN PRIDE(日本人としての勇気と誇りを再認識する)

ディベート・ボディランゲージ (効果的な伝え方、伝わり方を学ぶ)

JCI Discover (良い変化を巻き起こすアクティブシチズンになる)

JCI Explore (JCI 組織で得られるリーダーシップの機会を発見し、青年会議所を効果的に運営する方法を学ぶ)

これら多種多様なプログラムは JC 運動・活動のみならず会社運営にも役立ちます。



これだけの素晴らしいプログラム、学ぶ機会がありながらメンバーに提供できていないということも出向し始めて知ることができました。

ラストイヤーだからこそ、もっと JC プログラムの素晴らしさをメンバーに伝えなくてはならないという使命感を持ち 1 年間駆け抜けることができました。

1970 年代、盲導犬のブリーダーを生業としていた我々の先輩にあたる方がある時、盲導犬をいくら育てても次々と買われて、育てるのが追い付かなくなったその原因を探ると、交通事故で盲導犬が亡くなっている事が分かった、そこで交通安全運動を呼び掛けて交通事故で亡くなる盲導犬を減らすことができた。

そして、今まで追いつかなかった盲導犬の育成に歯止めをかけることができた話があり、盲導犬の需要が多いからと盲導犬を育てることが原因解決ではなかった、突き詰めていくと思わぬところに原因があるという事例を歴代会頭によるセミナーを通じて学ぶことができ、物事の本質は何か？を追求する必要性を痛感しました。皆様の次年度の JC 活動、運動が素晴らしいものになることを祈念致しまして私の出向報告とさせていただきます。

監査担当役員 大槻 俊介

本年は福島ブロック協議会 監査担当役員として出向させていただきました。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、運動・活動に制限がかかった日々が多いなかではありましたが WEB を中心とした事業構築に注力し出来得る限りの運動を行った一年となりました。またブロック大会開催を通して、恐れずに挑戦することの重要性、そして成功体験から得られる大きな学びを得ることができました。この学びをしっかりと LOM に還元し、全員の成長に繋げて参ります。このような貴重な機会を与えていただいた柳沼勝恵理事長をはじめとする全ての現役会員の皆様に感謝を申し上げ、出向者報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

総務委員会  
委員 長尾宗一郎

はじめに、公益社団法人日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会 総務委員会に出向させていただきましたことに柳沼理事長をはじめとするメンバーの皆さまに感謝申し上げます。

総務委員会は、各会議の設営と議事録作成及びしゃくなげカップ、ブロック大会、事業報告会、卒業式を担当させていただきました。本年も新型コロナウイルス感染症の影響によって思うような活動ができない状態でしたが、ZOOM を活用してハイブリッドで各会議設営、委員会を開催するなど、時代に即した活動を一年間経験させていただきました。また、ブロック大会、事業報告会、卒業式は実地で開催することが出来たため多くの経験と成長の機会を得ることが出来ました。

結びに、本年一年間の経験を自分自身にしっかりと落とし込み LOM の運動・活動に還元していくことをお約束して出向者報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

ブロック大会実行委員会  
委員 江崎 健太

本年度、福島ブロック協議会ブロック大会実行委員会に委員として出向させて頂きました。本年度のブロック大会は、第51回福島ブロック大会 in 相馬として、7月3日及び同4日にかけて相馬市及び周辺地域の皆様の幅広い支援の下で開催させて頂きました。そのうち、我々実行委員会は記念事業「ホシテラス～ヒカリの花束と夜空に想いを込めて～」及び記念

式典の実務を担わせて頂きました。

記念事業において、我々実行委員会は自分たちの力だけではなく、相馬、相馬東及び新地各高等学校の美術関係の部活動の部員の皆様と協力してオブジェ及びスカイランタンを製作しました。それらの作品を松川浦の夕べにお集まりの皆様の前で披露させて頂きました。夕闇に光を灯しながら浮かぶ各作品は灯籠流しのような眺めであり、浜通り地域での大きな災害から10年の時を経た節目の年にふさわしい鎮魂の催しとなったことと思います。また、記念式典では庶務を担当し、円滑な式典運営の下支えとなったことと自負しております。これらの取り組みを通じて、青年会議所運動において不可欠な他のLOMの会員の方々との協働及び間もなく青年会議所に入会できる年齢に差し掛かる青年の方々と一緒に事業を運営する貴重な経験を得ました。今後、これらの経験は、事業構築に必要なコミュニケーションに活かすことができることはもちろん、若い世代への会員拡大にあたりどのような姿勢で臨めば良いのか示唆に富む経験ともなりましたので、来年度以降のLOMでの活動を大いに充実させることにつなげられるものと考えております。

本年度の貴重な経験を与えて頂いた柳沼勝恵理事長をはじめとする全ての会員の皆様に感謝を申し上げ、出向者報告とさせて頂きます。一年間ありがとうございました。

福島未来創造委員会  
委員 高橋 章太

2021年度福島ブロック協議会福島未来創造委員会に出向させていただき誠にありがとうございました。福島未来創造委員会では福島の未来の発展と魅力の発信に繋げるための様々な事業を行いました。新型コロナウイルスの影響などにより当初の事業計画通りにいかないことも多かったです。形を変えながらも目的に沿った事業を実施する事が出来ました。

実施した事業と致しましては、福島県における交通インフラの課題への対策を県に提言する「福島ロジスティクスPLAN2021」、Jヴィレッジにて開催された第7回JCカップU-11少年少女サッカー全国大会福島予選大会の主催と東北大会・全国大会の設営、東日本大震災の際に多くの支援をいただいた台湾へ感謝の想いを伝えると共に、福島の魅力を知ってもらうための台湾華僑総会の皆様との交流事業、補助金・助成金の利活用セミナーの開催などがございました。どの事業も福島の地域益増進に繋がるきっかけとなる事業ばかりで、微力ながらこういった事業に関われたことを心から誇らしく思うと共に、福島県の未来というものについて真剣に考えるととてもいい経験が出来ました。

今回の出向を通じて本当に多くの気づきや学び、そして仲間を得る事が出来ました。このような素晴らしい機会を与えていただいた柳沼勝恵理事長をはじめとするメンバーの皆様に改めて心より感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

アカデミー委員会  
委員 阿部 圭祐  
委員 堀川 武尊

60周年記念事業や東北青年フォーラム in 郡山が開催された非常に運動・活動が多かった2021年度において、福島ブロック協議会アカデミー委員会への出向という貴重な機会をいただきましたこと、柳沼理事長をはじめと致しますLOMメンバーの皆様に深く感謝申し上げます。

アカデミー委員会では「自らが考え行動する地域の明日を切り拓く人財の育成」を目標に、コロナ禍のなかでもリアル開催にこだわり委員会が動いてまいりました。アカデミー生である我々も現地で話を聞き、仲間と顔を合わせて何物にも代え難い時間を共に過ごす事で福島19LOMの仲間たちと絆を深めることができました。

福島ブロック大会 in 相馬においては、アカデミー生が中心となり、メインフォーラムである「地域の明日を切り拓く青年フォーラム」の設営を行いました。LOM以外のメンバーと大舞台でのメインフォーラム設営ということで、慣れない環境ではありましたが、だからこそ得られた気づきや学びが数多くございました。

今回の出向によって得られた気づきや学び、福島19LOMとの絆を、LOMはもちろん地域社会に還元できるよう、今後も日々研鑽を重ね、慢心せず、邁進してまいりたいと思います。改めまして、出向という大変貴重な体験、機会を頂けたことを深く感謝を申し上げ我々のアカデミー委員会出向報告とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。

監事 大槻 俊介

監事 樽川 明広

柳沼勝恵理事長をはじめとする公益社団法人郡山青年会議所の皆様、2021年の運動・活動大変お疲れ様でした。

「共奏～共に創ろう笑顔と活気溢れる郡山の未来を～」のスローガンのもと、本年度も多くの運動・活動を力強く展開致しました。本年は何と云っても創立60周年記念式典と東北青年フォーラムin郡山主管いう二本の大きな柱となる事業を抱えてスタート致しましたが、振り返ってみるとまさに新型コロナウイルス感染拡大との戦いでした。

1月には、郡山青年会議所としても新型コロナウイルス感染防止対策についてガイドラインを策定し、県のガイドラインも遵守しながら各事業を行うという、常に難しい判断が求められる場面の連続でした。

60周年記念式典及び東北青年フォーラムin郡山についても、コロナウイルスの感染拡大防止に伴い当初計画とは内容を変更したうえで、WEBでの配信という手法を選択しました。変更が相次ぐ状況にもかかわらず、各実行委員会メンバーにおいては制限があるなかでも出来る最善の方法を模索し、妥協する事なく最後まで真摯に取り組む姿は、大変記憶に残っております。

また例会や総会についても一部をWEB開催に変更するなど、今年は当初の予定通りに実行された事業は何ひとつ無かったかと思えます。

そんなしい状況ではありましたが「手法は変えても運動は止めない」という柳沼理事長の強いリーダーシップのもと、運動・活動を止めることなく1年を終える事が出来ました。

様々な変更に伴う対応や、あらゆる状況を想定して計画を組むことが必須となった本年を乗り切ったメンバーは、折れない心と対応力が身についたと感じております。

また、60周年記念式典開催に伴い多くのOB会会員の皆様よりご支援いただきましたことも、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今年は大きく手法を変えて行なった事業がほとんどでした。我々の判断、手法は時代に即していたのかを検証し、しっかりと次年度へ繋げる事が本年度メンバーの責任と感じております。

コロナ禍でありながらも各種事業、60周年記念式典、東北青年フォーラムin郡山主管という激動の一年を無事に乗り切ったメンバーに改めて感謝申し上げます。

この経験を活かし、成長したメンバーが多角的な視野で状況に応じた柔軟な判断力を持つことにより、郡山青年会議所が地域を牽引する団体として、より有意義で活発な活動に繋がる事をご祈念申し上げ我々2名の監事報告と致します。

公益社団法人郡山青年会議所 2021年度 各委員会月別報告書 No.1

	総務委員会	会員開発委員会
1月	07日 第1回総務委員会開催 15日 第2回総務委員会開催 文書発送 20日 新年ご挨拶動画配信開始 27日 1月例会・定時総会開催	06日 第1回会員開発委員会開催 21日 第2回会員開発委員会開催
2月	04日 第3回総務委員会開催 16日 第4回総務委員会開催 文書発送 25日 2月例会開催	04日 第3回会員開発委員会開催 20日 第4回会員開発委員会開催 27日 新入会員オリエンテーション並びに 現役会員向け会員資質向上セミナー実施 (室合同)
3月	04日 第5回総務委員会開催 16日 第6回総務委員会開催 文書発送 25日 3月例会開催	02日 第5回会員開発委員会開催 24日 第6回会員開発委員会開催
4月	05日 第7回総務委員会開催 15日 第8回総務委員会開催 文書発送 26日 4月例会開催	06日 第7回会員開発委員会開催 16日 第8回会員開発委員会開催 26日 4月例会並びに現役会員とOB会会員の活動 報告会 30日 第9回会員開発委員会開催
5月	06日 第9回総務委員会開催 17日 第10回総務委員会開催 文書発送 30日 5月例会並びにJCI郡山健康塾開催	20日 第10回会員開発委員会開催 30日 第1回会員拡大会議開催
6月	03日 第11回総務委員会開催 15日 第12回総務委員会開催 文書発送 23日 6月例会開催	02日 第11回会員開発委員会開催 21日 第12回会員開発委員会開催 29日 第2回会員拡大会議開催
7月	05日 第13回総務委員会開催 15日 第14回総務委員会開催 文書発送 20日 7月例会開催	06日 第13回会員開発委員会開催 16日 第14回会員開発委員会開催 26日 資質向上セミナー開催
8月	02日 第15回総務委員会開催 17日 第16回総務委員会開催 文書発送 26日 8月例会開催	02日 第15回会員開発委員会開催 19日 第16回会員開発委員会開催
9月	02日 第17回総務委員会開催 15日 第18回総務委員会開催 文書発送 24日 9月例会・定時総会開催	02日 第17回会員開発委員会開催 22日 第18回会員開発委員会開催 29日 第3回会員拡大会議開催
10月	04日 第19回総務委員会開催 15日 第20回総務委員会開催 文書発送 25日 10月例会開催	04日 第19回会員開発委員会開催 19日 第20回会員開発委員会開催
11月	04日 第21回総務委員会開催 15日 第22回総務委員会開催 文書発送 22日 11月例会開催	02日 第21回会員開発委員会開催 16日 第22回会員開発委員会開催
12月	03日 第23回総務委員会開催 11日 12月臨時総会・卒業式開催 15日 12月例会開催 27日 第24回総務委員会開催 文書発送	02日 第23回会員開発委員会開催 09日 第4回会員拡大会議開催 16日 第24回会員開発委員会開催

公益社団法人郡山青年会議所 2021年度 各委員会月別報告書 No.2

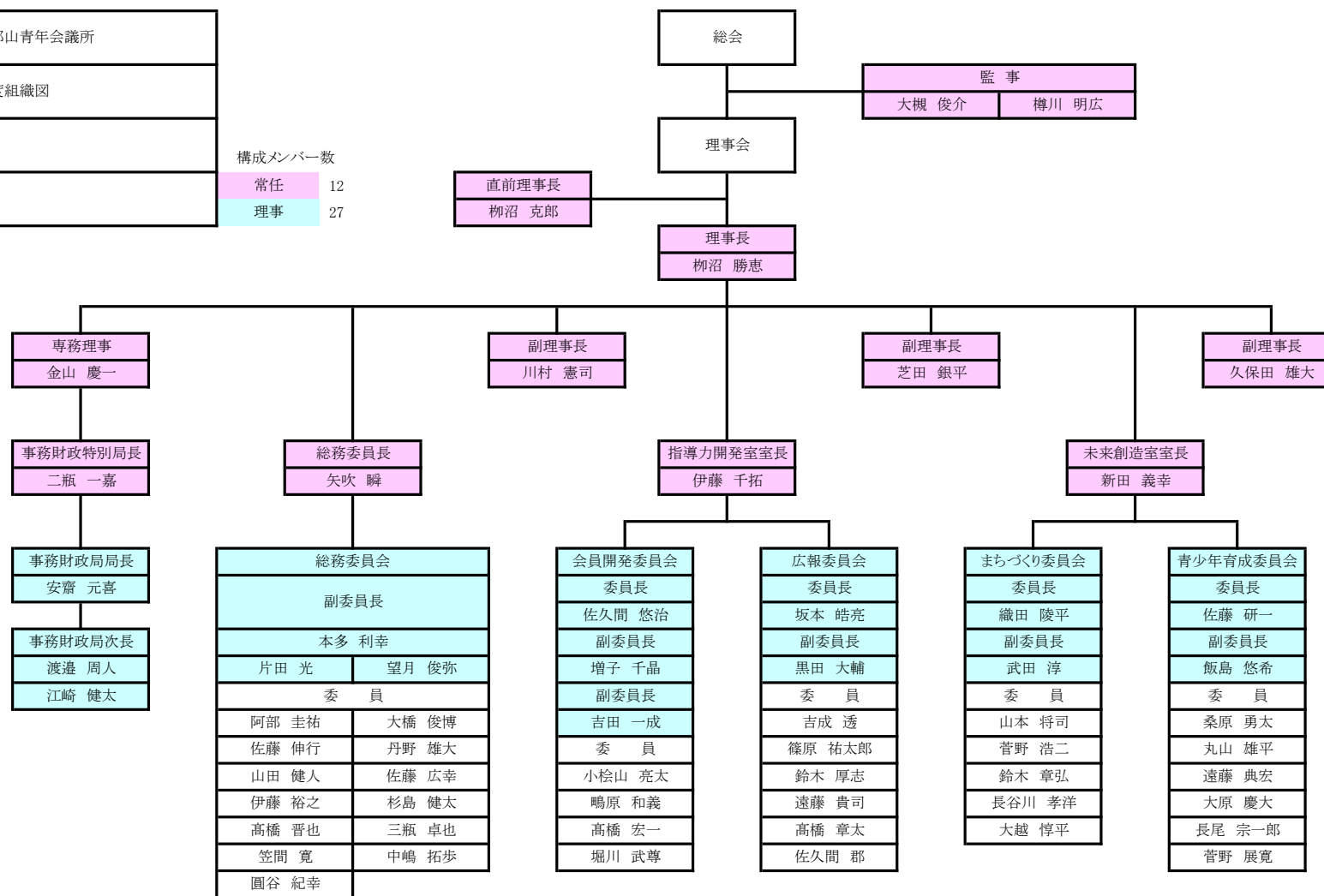
	広報委員会	まちづくり委員会
1月	06日 第1回広報委員会開催 14日 第2回広報委員会開催 15日 広報誌発刊 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	06日 第1回まちづくり委員会開催 22日 第2回まちづくり委員会開催
2月	05日 第3回広報委員会開催 22日 第4回広報委員会開催 27日 2021年度 新入会員オリエンテーション並びに 現役会員向けセミナー開催 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	04日 第3回まちづくり委員会開催 17日 第4回まちづくり委員会開催
3月	03日 第5回広報委員会開催 18日 第6回広報委員会開催 23日 トーキングナイト ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	03日 第5回まちづくり委員会開催 12日 第6回まちづくり委員会開催
4月	06日 第7回広報委員会開催 19日 第8回広報委員会開催 30日 第9回広報委員会開催 30日 第60回「久米賞・百合子賞」実行委員会 第1 回委員会の開催 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	02日 第7回まちづくり委員会開催 03日 郡山市長選に伴う公開討論会開催 16日 第8回まちづくり委員会開催 30日 第9回まちづくり委員会開催
5月	18日 第10回広報委員会開催 17日 広報誌発刊 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	07日 第10回まちづくり委員会開催 19日 第11回まちづくり委員会開催
6月	04日 第11回広報委員会開催 16日 第12回広報委員会開催 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	04日 第12回まちづくり委員会開催 18日 第13回まちづくり委員会開催
7月	02日 第13回広報委員会開催 16日 第14回広報委員会開催 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	06日 第14回まちづくり委員会開催 16日 第15回まちづくり委員会開催
8月	02日 第15回広報委員会開催 17日 広報誌発刊 19日 第16回広報委員会開催 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	03日 第16回まちづくり委員会開催 18日 第17回まちづくり委員会開催
9月	02日 第17回広報委員会開催 09日 第60回「久米賞・百合子賞」読み合わせ会 17日 第18回広報委員会開催 28日 第60回「久米賞・百合子賞」実行委員会 第2 回委員会 開催 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	02日 第18回まちづくり委員会開催 05日 MUSIC TOMORROW KORIYAMA開催 22日 第19回まちづくり委員会開催
10月	05日 第19回広報委員会 18日 第20回広報委員会開催 23日 第60回「久米賞・百合子賞」最終審査会 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	05日 第20回まちづくり委員会開催 21日 第21回まちづくり委員会開催
11月	02日 第21回広報委員会開催 16日 第22回広報委員会開催 23日 11月例会並びに第60回「久米賞・百合子賞」 授賞式 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	05日 第22回まちづくり委員会開催 19日 第23回まちづくり委員会開催
12月	03日 第23回広報委員会開催 17日 第60回「久米賞・百合子賞」実行委員会 第3 回委員会 21日 12月例会開催 27日 広報誌発刊 ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎SNSの運営・管理	02日 第24回まちづくり委員会開催 17日 第25回まちづくり委員会開催

公益社団法人郡山青年会議所 2021年度 各委員会月別報告書 No.3

青少年育成委員会	
1月	05日 第1回青少年育成委員会開催 14日 第2回青少年育成委員会開催
2月	04日 第3回青少年育成委員会開催 16日 第4回青少年育成委員会開催
3月	02日 第5回青少年育成委員会開催 18日 第6回青少年育成委員会開催
4月	02日 第7回青少年育成委員会開催 16日 第8回青少年育成委員会開催 30日 第9回青少年育成委員会開催
5月	05日 「第56回郡山市こどもまつり」開催 18日 第10回青少年育成委員会開催
6月	04日 第11回青少年育成委員会開催 16日 第12回青少年育成委員会開催
7月	02日 第13回青少年育成委員会開催 03日～04日 第51回福島ブロック大会in相馬参加引率 11日 第24回わんぱく相撲福島ブロック大会引率 16日 第14回青少年育成委員会開催
8月	02日 第15回青少年育成委員会開催 12日 第16回青少年育成委員会開催
9月	02日 第17回青少年育成委員会開催 04日 防災トークショー開催 16日 第18回青少年育成委員会開催
10月	04日 第19回青少年育成委員会開催 18日 第20回青少年育成委員会開催 31日 第36回わんぱく相撲全国大会引率
11月	02日 第21回青少年育成委員会開催 07日 リモート型防災アトラクション ザ・リモート開催 16日 第22回青少年育成委員会開催
12月	02日 第23回青少年育成委員会開催 16日 第24回青少年育成委員会開催



公益社団法人郡山青年会議所
2021年度組織図
構成メンバー数
常任 12
理事 27



# 公益社団法人郡山青年会議所

## 2021年度 収支決算書

- 1 正味財産増減計算書(補正予算)
- 2 正味財産増減計算書 内訳表
- 3 事業区分経理の内訳表
- 4 正味財産増減計算書(決算)
- 5 正味財産増減計算書 内訳表
- 6 事業区分経理の内訳表
- 7 貸借対照表
- 8 財産目録
- 9 財務諸表に対する注記
- 10 付属明細書

公益社団法人郡山青年会議所 2021年度 正味財産増減計算書

2021年1月1日から12月31日まで

科 目	補正予算	決算	差 異	差 異 理 由
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
基本財産運用益				
特定資産運用益				
受取入会金	550,000	550,000		
受取入会金	550,000	550,000		
受取会費	8,400,000	8,540,000	140,000	
正会員会費	8,400,000	8,540,000	140,000	会費入金のため
事業収益	6,427,000	7,416,000	989,000	
登録料収益	427,000	736,000	309,000	登録料増収のため
広告料収益	6,000,000	6,680,000	680,000	広告料増収のため
事務局受託収益				
雑収益				
受取補助金等	3,580,000	3,295,000	-285,000	
受取国庫補助金				
受取地方公共団体補助金	3,500,000	3,215,000	-285,000	事業内容確定のため
受取民間補助金				
受取国庫助成金				
受取地方公共団体助成金	80,000	80,000		
受取民間助成金				
受取補助金等振替額				
受取負担金				
受取負担金				
受取負担金振替額				
受取寄付金	6,654,786	6,625,186	-29,600	
受取寄付金	6,630,000	6,625,186	-4,814	寄付金減収のため
募金収益				
受取寄付金振替額	24,786		-24,786	
雑収益	5,415	27,838	22,423	
受取利息	15	238	223	利息確定のため
雑収益	5,400	27,600	22,200	事業内容確定のため
経常収益計	25,617,201	26,454,024	836,823	
<b>(2) 経常費用</b>				
事業費	19,804,806	18,978,791	-826,015	
給料手当	1,431,500	1,472,306	40,806	
退職金給付手当				
福利厚生費	210,000	233,938	23,938	
旅費交通費				
通信運搬費	1,009,266	995,409	-13,857	事業内容確定のため
減価償却費				
消耗什器備品費		37,160	37,160	
消耗品費	644,620	569,339	-75,281	事業内容確定のため
修繕費				
印刷製本費	4,289,223	4,006,671	-282,552	事業内容確定のため
広報費				
燃料費				
光熱水料費	210,000	128,328	-81,672	
賃借料	2,718,464	2,006,056	-712,408	
保険料	66,470	66,470		
諸謝金	2,271,770	2,279,770	8,000	事業内容確定のため
租税公課				
委託費	4,782,293	4,523,744	-258,549	事業内容確定のため
支払負担金	1,046,000	1,046,000		
支払助成金				
渉外費	4,400	4,400		
雑費	1,120,800	1,609,200	488,400	事業内容確定のため
管理費	4,255,230	4,148,371	-106,859	
給与手当	613,500	630,989	17,489	
退職金給付手当	50,000	50,000		
福利厚生費	90,000	100,258	10,258	
旅費交通費				
通信運搬費	336,000	351,454	15,454	
減価償却費				
消耗什器備品費				
消耗品費	105,000	60,551	-44,449	
修繕費				
印刷製本費	361,050	316,893	-44,157	
燃料費				
光熱水料費	90,000	54,996	-35,004	
賃借料	564,600	481,128	-103,472	
保険料		15,400	15,400	
諸謝金	6,600	6,600		
租税公課				
渉外費	140,000	161,404	21,404	
支払負担金	1,298,480	1,390,378	91,898	
JCI負担金支出	94,380	95,953	1,573	会員数確定のため
日本IC負担金支出	345,000	350,000	5,000	会員数確定のため
地区協議会負担金支出	95,000	96,500	1,500	会員数確定のため
フロッグ協議会負担金支出	335,000	340,000	5,000	会員数確定のため
国際協力資金支出	109,500	111,325	1,825	会員数確定のため
日本JC出向者負担金支出	100,000	100,000		会員数確定のため
WeBelieve講義料支出	180,000	182,000	2,000	会員数確定のため
他団体負担金	39,600	114,600	75,000	会員数確定のため
委託費				
雑費	600,000	548,320	-51,680	
経常費用計	24,060,036	23,127,162	-932,874	
評価損益等調整前当期経常増減額	1,557,165	3,326,862	1,769,697	
①基本財産評価損益等				
②特定資産評価損益等				
③投資有価証券評価損益等				
評価損益等計				
当期経常増減額	1,557,165	3,326,862	1,769,697	
<b>2. 経常外増減の部</b>				
<b>(1) 経常外収益</b>				
①固定資産売却益				
建物売却益				
車両運搬具売却益				
什器備品売却益				
土地売却益				
借地権売却益				
電話加入権売却益				
②固定資産受贈益				
土地受贈益				
投資有価証券受贈益				
③前期損益修正益				
前期損益修正益				
経常外収益計				
<b>(2) 経常外費用</b>				
①固定資産売却損				
建物売却損				
車両運搬具売却損				
什器備品売却損				
土地売却損				
借地権売却損				
電話加入権売却損				
②固定資産売却損				
土地減損損失				
投資有価証券減損損失				
③災害損失				
災害損失				
④前期損益修正損				
前期損益修正損				
⑤雑損失				
雑損失				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	1,557,165	3,326,862	1,769,697	
一般正味財産期首残高	5,822,534	5,822,534		
一般正味財産期末残高	7,379,699	9,149,396	1,769,697	
<b>II. 指定正味財産増減の部</b>				
①受取補助金等				
受取国庫補助金等				
受取地方公共団体補助金				
受取民間補助金				
受取国庫助成金				
受取地方公共団体助成金				
受取民間助成金				
②受取負担金				
受取負担金				
③受取寄付金				
受取寄付金				
④固定資産受贈益				
⑤基本財産評価益				
⑥特定資産評価益				
⑦基本財産評価損				
⑧特定資産評価損				
⑨一般正味財産への振替額				
一般正味財産への振替額				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
<b>III. 正味財産期末残高</b>	7,379,699	9,149,396	1,769,697	

公益社団法人郡山青年議所 2021年度 正味財産増減計算書 内訳表  
2021年1月1日から2021年12月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	共通	小計	他1	他2	共通	小計		
I. 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益										
特定資産運用益										
受取入会金			275,000	275,000			110,000	110,000	165,000	550,000
受取入会金			275,000	275,000			110,000	110,000	165,000	550,000
受取入会金			4,270,000	4,270,000			1,708,000	1,708,000	2,562,000	8,540,000
受取入会金			4,270,000	4,270,000			1,708,000	1,708,000	2,562,000	8,540,000
事業収益						7,416,000		7,416,000		7,416,000
登録料収益						736,000		736,000		736,000
広告料収益						6,680,000		6,680,000		6,680,000
事務局受託収益										
雑収益										
受取補助金等	1,725,000	1,570,000		3,295,000						3,295,000
受取国庫補助金										
受取地方公共団体補助金	1,725,000	1,490,000		3,215,000						3,215,000
受取民間補助金										
受取国庫助成金										
受取地方公共団体助成金		80,000		80,000						80,000
受取民間助成金										
受取補助金等振替額										
受取負担金										
受取負担金										
受取負担金振替額										
受取寄付金			3,312,593	3,312,593			1,325,037	1,325,037	1,987,556	6,625,186
受取寄付金			3,312,593	3,312,593			1,325,037	1,325,037	1,987,556	6,625,186
募金収益										
受取寄付金振替額										
雑収益									27,838	27,838
受取利息									238	238
雑収益									27,600	27,600
経常収益計	1,725,000	1,570,000	7,857,593	11,152,593		7,416,000	3,143,037	10,559,037	4,742,394	26,454,024
(2) 経常費用										
事業費	4,509,931	4,969,415		9,479,346	854,880	8,644,565		9,499,445	4,148,371	18,978,791
給料手当	525,823	525,823		1,051,646	210,330	210,330		420,660	630,989	1,472,306
退職金給付手当									50,000	50,000
福利厚生費	83,549	83,549		167,098	33,420	33,420		66,840	100,258	233,938
旅費交通費									351,454	351,454
通信運搬費	292,878	292,878		585,756	117,237	292,416		409,653		995,409
減価償却費										
消耗什器備品費						37,160		37,160		37,160
消耗品費	59,958	339,358		399,316	57,314	112,709		170,023		569,339
修繕費										
印刷製本費	451,495	609,917		1,061,412	105,632	2,839,627		2,945,259		4,006,671
燃料費										
光熱水料費	45,831	45,831		91,662	18,333	18,333		36,666		128,328
賃借料	838,227	463,245		1,301,472	302,614	401,970		704,584		2,006,056
保険料	66,470			66,470						66,470
諸謝金	1,360,000	193,270		1,553,270	10,000	716,500		726,500		2,279,770
租税公課										
委託費	785,700	1,299,544		2,085,244		2,438,500		2,438,500		4,523,744
支払負担金		1,036,000		1,036,000		10,000		10,000		1,046,000
支払助成金										
渉外費						4,400		4,400		4,400
雑費		80,000		80,000		1,529,200		1,529,200		1,609,200
管理費									4,148,371	4,148,371
給料手当									630,989	630,989
退職金給付手当									50,000	50,000
福利厚生費									100,258	100,258
旅費交通費									351,454	351,454
通信運搬費										
減価償却費										
消耗什器備品費									60,551	60,551
消耗品費										
修繕費										
印刷製本費									316,893	316,893
燃料費										
光熱水料									54,996	54,996
賃借料									461,128	461,128
保険料									15,400	15,400
諸謝金									6,600	6,600
租税公課										
渉外費									161,404	161,404
支払負担金									1,390,378	1,390,378
JCI負担金支出									95,953	95,953
日本JC負担金支出									350,000	350,000
地区協議会負担金支出									96,500	96,500
ブロック協議会負担金支出									340,000	340,000
国際協力資金支出									111,325	111,325
日本JC出向者負担金支出									100,000	100,000
WeBelieve購読料支出									182,000	182,000
他団体負担金									114,600	114,600
委託費									548,320	548,320
雑費										
経常費用計	4,509,931	4,969,415		9,479,346	854,880	8,644,565		9,499,445	4,148,371	23,127,162
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,784,931	△ 3,399,415	7,857,593	1,673,247	△ 854,880	△ 1,228,565	3,143,037	1,059,592	594,023	3,326,862
①基本財産評価損益等										
②特定資産評価損益等										
③投資有価証券評価損益等										
評価損益等計										
当期経常増減額	△ 2,784,931	△ 3,399,415	7,857,593	1,673,247	△ 854,880	△ 1,228,565	3,143,037	1,059,592	594,023	3,326,862
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
①固定資産売却益										
建物売却益										
車両運搬具売却益										
什器備品売却益										
土地売却益										
借地権売却益										
電話加入権売却益										
②固定資産受贈益										
土地受贈益										
投資有価証券受贈益										
③前期損益修正益										
前期損益修正益										
経常外収益計										
(2) 経常外費用										
①固定資産売却損										
建物売却損										
車両運搬具売却損										
什器備品売却損										
土地売却損										
借地権売却損										
電話加入権売却損										
②固定資産除却損										
土地減損損失										
投資有価証券減損損失										
③災害損失										
災害損失										
④前期損益修正損										
前期損益修正損										
⑤雑損失										
雑損失										
経常外費用計										
当期経常外増減額										
他会計振替額										
当期一般正味財産増減額	△ 2,784,931	△ 3,399,415	7,857,593	1,673,247	△ 854,880	△ 1,228,565	3,143,037	1,059,592	594,023	3,326,862
一般正味財産期首残高									5,822,534	5,822,534
一般正味財産期末残高	△ 2,784,931	△ 3,399,415	7,857,593	1,673,247	△ 854,880	△ 1,228,565	3,143,037	1,059,592	6,416,557	9,149,396
II. 指定正味財産増減の部										
①受取補助金等										
受取国庫補助金等										
受取地方公共団体補助金										
受取民間補助金										
受取国庫助成金										
受取地方公共団体助成金										
受取民間助成金										
②受取負担金										
受取負担金										
③受取寄付金										
受取寄付金										
④固定資産受贈益										
⑤基本財産評価益										
⑥特定資産評価益										
⑦基本財産評価損										
⑧特定資産評価損										
⑨一般正味財産への振替額										
一般正味財産への振替額										
当期指定正味財産増減額										
指定正味財産期首残高										
指定正味財産期末残高										
III. 正味財産期末残高	△ 2,784,931	△ 3,399,415	7,857,593	1,673,247	△ 854,880	△ 1,228,565	3,143,037	1,059,592	6,416,557	9,149,396



公益社団法人郡山青年会議所 2021年度 正味財産増減計算書  
2021年1月1日から12月31日まで

科 目	当初予算	補正予算	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
特定資産運用益			
受取入会金	875,000	550,000	-325,000
受取入会金	875,000	550,000	-325,000
受取会費	9,380,000	8,400,000	-980,000
正会員会費	9,380,000	8,400,000	-980,000
事業収益	1,200,000	6,427,000	5,227,000
登録料収益	300,000	427,000	127,000
広告料収益	900,000	6,000,000	5,100,000
事務局受託収益			
雑収益			
受取補助金等	3,480,000	3,580,000	100,000
受取国庫補助金		1,500,000	1,500,000
受取地方公共団体補助金	2,900,000	2,000,000	-900,000
受取民間補助金	500,000		-500,000
受取国庫助成金			
受取地方公共団体助成金		80,000	80,000
受取民間助成金	80,000		-80,000
受取補助金等振替額			
受取負担金			
受取負担金振替額			
受取寄付金	1,896,000	6,654,786	4,758,786
受取寄付金	1,896,000	6,630,000	4,734,000
募金収益			
受取寄付金振替額		24,786	24,786
雑収益	2,000	5,415	3,415
受取利息	400	15	-385
雑収益	1,600	5,400	3,800
経常収益計	16,833,000	25,617,201	8,784,201
(2) 経常費用			
事業費	11,382,025	19,804,806	8,422,781
給料手当	1,431,500	1,431,500	
退職金給付手当			
福利厚生費	210,000	210,000	
旅費交通費			
通信運搬費	746,600	1,009,266	262,666
減価償却費			
消耗什器備品費	1,327,300	644,620	-682,680
消耗品費			
修繕費			
印刷製本費	615,645	4,289,223	3,673,578
広報費			
燃料費			
光熱水料費	280,000	210,000	-70,000
賃借料	2,953,080	2,718,464	-234,616
保険料	66,500	66,470	-30
謝礼金	419,400	2,271,770	1,852,370
租税公課			
委託費	1,950,000	4,782,293	2,832,293
支払負担金	1,106,000	1,046,000	-60,000
支払助成金			
渉外費		4,400	4,400
雑費	276,000	1,120,800	844,800
管理費	4,601,473	4,255,230	-346,243
給与手当	613,500	613,500	
退職金給付手当	50,000	50,000	
福利厚生費	90,000	90,000	
旅費交通費			
通信運搬費	315,000	336,000	21,000
減価償却費			
消耗什器備品費			
消耗品費	384,000	105,000	-279,000
修繕費			
印刷製本費		361,050	361,050
燃料費			
光熱水料費	120,000	90,000	-30,000
賃借料	624,120	564,600	-59,520
保険料			
謝礼金	13,200	6,600	-6,600
租税公課			
渉外費	380,497	140,000	-240,497
支払負担金	1,484,316	1,298,480	-185,836
JCI負担金支出	109,616	94,380	-15,236
日本JCI負担金支出	385,000	345,000	-40,000
地区協議会負担金支出	107,000	95,000	-12,000
ブロック協議会負担金支出	375,000	335,000	-40,000
国際協力資金支出	124,100	109,500	-14,600
日本JCI出向者負担金支出	110,000	100,000	-10,000
WeBelieve購読料支出	204,000	180,000	-24,000
他団体負担金	69,600	39,600	-30,000
委託費			
雑費	526,840	600,000	73,160
経常費用計	15,983,498	24,060,036	8,076,538
評価損益等調整前当期経常増減額	849,502	1,557,165	707,663
①基本財産評価損益等			
②特定資産評価損益等			
③投資有価証券評価損益等			
評価損益等計			
当期経常増減額	849,502	1,557,165	707,663
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
①固定資産売却益			
建物売却益			
車両運搬具売却益			
什器備品売却益			
土地売却益			
借地権売却益			
電話加入権売却益			
②固定資産受贈益			
土地受贈益			
投資有価証券受贈益			
③前期損益修正益			
前期損益修正益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
①固定資産売却損			
建物売却損			
車両運搬具売却損			
什器備品売却損			
土地売却損			
借地権売却損			
電話加入権売却損			
②固定資産売却損			
土地減損損失			
投資有価証券減損損失			
③災害損失			
災害損失			
④前期損益修正損			
前期損益修正損			
⑤雑損失			
雑損失			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	849,502	1,557,165	707,663
一般正味財産期首残高	5,461,016	5,822,534	361,518
一般正味財産期末残高	6,310,518	7,379,699	1,069,181
II. 指定正味財産増減の部			
①受取補助金等			
受取国庫補助金等			
受取地方公共団体補助金			
受取民間補助金			
受取国庫助成金			
受取地方公共団体助成金			
受取民間助成金			
②受取負担金			
受取負担金			
③受取寄付金			
受取寄付金			
④固定資産受贈益			
⑤基本財産評価益			
⑥特定資産評価益			
⑦基本財産評価損			
⑧特定資産評価損			
⑨一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III. 正味財産期末残高	6,310,518	7,379,699	1,069,181







公益社団法人郡山青年会議所 2021年度 貸借対照表

2021年12月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差 異
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,942,410	6,570,709	3,371,701
小口現金	16,932	15,672	1,260
普通・定期預金	9,925,478	6,555,037	3,370,441
立替金	0	0	0
未収金	0	0	0
事業仮払金	0	0	0
流動資産合計	9,942,410	6,570,709	3,371,701
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本資産合計	0	0	0
(2) 特定財産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他の固定資産			
保証金	0	0	0
退職給与特定積立	1,731,000	1,681,000	50,000
その他の固定資産計	1,731,000	1,681,000	50,000
固定資産合計	1,731,000	1,681,000	50,000
資産合計	11,673,410	8,251,709	3,421,701
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
仮受金	0	0	0
預り金	793,014	748,175	44,839
前受会費	0	710,000	△ 710,000
源泉税	0	0	0
預り金	793,014	38,175	754,839
流動負債合計	793,014	748,175	44,839
2. 固定負債			
退職金引当金	1,731,000	1,681,000	50,000
固定負債合計	1,731,000	1,681,000	50,000
負債合計	2,524,014	2,429,175	94,839
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	9,149,396	5,822,534	3,326,862
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	5,822,534	5,822,534	0
負債および正味財産合計	8,346,548	8,251,709	94,839

公益社団法人郡山青年会議所2021年度 財産目録

2021年12月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	16,932
預金	普通預金 東邦銀行 郡山営業部 口座番号322931	運転資金として	2,044,900
	普通預金 東邦銀行 郡山営業部 口座番号2422748	運転資金として	330,000
	普通預金 大東銀行 本店 口座番号1041883	運転資金として	63,580
	普通預金 福島銀行 郡山営業部 口座番号324137	運転資金として	439,750
	普通預金 秋田銀行 郡山支店 口座番号229164	運転資金として	266,748
	普通預金 郡山信用金庫 本店営業部 口座番号0940031	運転資金として	97,434
	普通預金 福島県商工信用組合 本店営業部 口座番号1028080	運転資金として	1,714
	当座預金 ゆうちょ銀行 二二九店 口座番号143357		2,481,352
	定期預金 東邦銀行 郡山営業部 口座番号97128860	60周年積立金	1,200,000
	定期預金 東邦銀行 郡山営業部 口座番号97117915	60周年積立金	3,000,000
流動資産合計			9,942,410
(固定資産)			
基本財産			
特定資産			
その他固定資産	退職給与積立金	定期預金 東邦銀行 郡山営業部 口座番号97128851	事務局員退職積立金
			1,731,000
固定資産合計			1,731,000
資産合計			11,673,410
(流動負債)			
	預り金		793,014
	前受金		
流動負債合計			793,014
(固定負債)	退職給与引当金		1,731,000
固定負債合計			1,731,000
負債合計			2,524,014
正味財産合計			9,149,396

## 財務諸表に対する注記

2021年12月31日現在

- 1、 継続事業の前提に対する注記 該当事項なし。
- 2、 重要な会計方針
- （1） 有価証券の評価基準及び評価方法 該当事項なし。
- （2） 棚卸資産の評価基準及び評価方法 該当事項なし。
- （3） 固定資産の減価償却の方法
- ①有形固定資産（リース資産を除く） 該当事項なし。
- ②無形固定資産（リース資産を除く） 該当事項なし。
- ③リース資産  
（所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産） 該当事項なし。
- （4） 引当金の計上基準 該当事項なし。
- （5） キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲 認定法第5条12号の規定により省略。
- （6） 消費税等の会計処理 税込方式によっている。

- 3、 会計方針の変更  
2015年度より「公益法人会計基準」（平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会）を適用する。
- 4、 基本財産及び特定資産の増減及びその残高 該当事項なし。
- 5、 基本財産及び特定資産の財源等の内訳 該当事項なし。
- 6、 担保に共している資産 該当事項なし。
- 7、 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 該当事項なし。

- 8、 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期期末残高

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
立替金	0	0	0
未収金	0	0	0
事業仮払金	0	0	0
小 計	0	0	0

- 9、 保証債務  
（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務 該当事項なし。
- 10、 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益 該当事項なし。
- 11、 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）補助金	福島県	0	1,725,000	1,725,000	0	
福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）補助金	福島県	0	1,490,000	1,490,000	0	
合 計		0	3,215,000	3,215,000	0	

- 12、 基本金及び代替基金の増減額及びその残高 該当事項なし。
- 13、 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳 該当事項なし。
- 14、 関連当事者との取引の内容 該当事項なし。
- 15、 キャッシュフロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引 該当事項なし。
- 16、 重要な後発事業 該当事項なし。
- 17、 その他 該当事項なし。

## 附属明細書

1、基本財産及び特定資産の明細	該当事項なし。	
2、引当金の明細	退職給付引当金	1,731,000

# 監査報告書

公益社団法人郡山青年会議所

理事長 柳沼 勝恵 殿

2022年 1月 7日  
公益社団法人郡山青年会議所

2021年度監事

2022年度監事

大槻 俊介



2021年度監事

2022年度監事

樽川 明広



2021年度監事

2022年度監事

金山 慶一



私達は、2021年1月1日から2021年12月31日までの会計年度における業務監査・会計監査を行い、次の通り報告する。

## 1. 監査方法及び概要

- (1) 業務監査について、理事会及びその他会議に出席し、理事から業務報告を聴取し、関係書類を閲覧など必要と思われる監査手段を用いて業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて、計算書類の正確性を検討した。

## 2. 監査意見

- (1) 事業報告内容は真実であると認められる。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正行為又は法定若しくは定款に違反する重大な事実認められない。
- (3) 正味財産増減計算書及び財産目録・会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく表示しているものと認められる。

以上

## 業務監査調書

作成者	代表
	

抽出基準内訳

①異常取引説明 ②会計処理上 ③内部統制上 ④予算統制上 ⑤その他

NO		抽出基準	監査指摘事項	顧末	回答者
1	2021年度 議事録 理事会	③	第3回理事予定者会議議事録の理事長印が常用漢字のもので押印されている。	修正しファイリングした。	専務理事 金山慶一
2	21 会員開発委員会	③	アジェンダ記載の定足数について5名という記載があるが4名ではないか。	訂正した。	専務理事 金山慶一
3		③	次年度段階の委員会開催報告書については理事長予定者と記載すること。	追記修正した。	専務理事 金山慶一
4	21 4月例会並びに現役会員とOB会員の活動報告会	③	決算収支報告書および補正計画書の表題に「(案)」の記載が残っている。	訂正した。	専務理事 金山慶一
5	21 資質向上セミナー	③	決算収支報告書の表題に「(案)」の記載が残っている。	訂正した。	専務理事 金山慶一
6	21 広報委員会	③	次年度段階の委員会開催報告書については理事長予定者と記載すること。	追記修正した。	専務理事 金山慶一
7		③	第1回委員会開催報告について、この時点から委員数が8名になった理由を追記すること。	追記修正した。	専務理事 金山慶一
8		③	第17回および第19回の委員会開催報告書について、開催場所の記載をWEBカレンダーの記載と合わせる。	訂正した。	専務理事 金山慶一
9	21 まちづくり委員会	③	アジェンダ記載の開催場所が見切れているので訂正すること。	訂正した。	専務理事 金山慶一
10		③	次年度段階の委員会開催報告書については理事長予定者と記載すること。	訂正した。	専務理事 金山慶一
11	21 青少年育成委員会	③	次年度段階の委員会開催報告書については理事長予定者と記載すること。	訂正した。	専務理事 金山慶一
12		③	次年度第6回および第11回委員会開催報告書について出席者の記載に誤りがある。	修正した。	専務理事 金山慶一
13	21 第51回福島ブロック大会in相馬参加引率	③	計画書の意見と対応、第06回理事会の追記部分に押印が抜けている。	押印した。	専務理事 金山慶一
14		③	報告書 事業概要 3. 参加員数結果報告について大会登録数が60名となっているが61名ではないか。	訂正した。	専務理事 金山慶一
14	21 褒賞委員会	③	第1回委員会開催報告書記載の開催時間に誤りがある。	訂正した。	専務理事 金山慶一
15		③	第1回委員会アジェンダについて、開催場所の記載をWEBカレンダーの記載と合わせる。	訂正した。	専務理事 金山慶一
16	21 郡山の魅力発信サイト開設	②	領収書NO. 1を添付している支払申請紙に担当者の氏名が記載されていない。	記載した。	専務理事 金山慶一
17		②	領収書NO. 1を添付している支払申請紙に公益性に関する記載がない。	記載した。	専務理事 金山慶一
18	21 記念事業・アトラクション部会	②	領収書NO. 1及び2を添付している支払申請紙に担当者の氏名が記載されていない。	記載した。	専務理事 金山慶一
19		②	領収書NO. 1ないし3、6、7及び9を添付している支払申請紙に公益性に関する記載がない。	記載した。	専務理事 金山慶一

2022年1月7日

# 会計監査調書

作成者	代表
 大槻 俊介 2022年1月7日	 梅川 明広 2022年1月7日

抽出基準内訳

①異常取引説明 ②会計処理上 ③内部統制上 ④予算統制上 ⑤その他

NO	抽出基準	監査指摘事項	顛末	回答者
		指摘事項なし		

### 第3号議案

#### 「2022年度福島ブロック大会in二本松並びに東北青年フォーラムin栗原 全員登録(案)承認に関する件(案)」承認の件

##### 1. 事業実施に至る背景

2021年度に開催された東北青年フォーラムin郡山にご支援ご協力いただいた東北各地の青年会議所メンバーにたいして東北青年フォーラム並びに福島ブロック大会に現役会員が全員登録することで、当青年会議所の感謝の意を示す必要がある。

##### 2.

実施日時：2022年7月(福島ブロック大会in二本松)

2022年8月(東北青年フォーラムin栗原)

実施場所 二本松市内(福島ブロック大会in二本松)

栗原市内(東北青年フォーラムin栗原)

##### 3. 内容

2022年度福島ブロック大会in二本松並びに東北青年フォーラムin栗原について現役会員の全員登録をおこなう。

※全員登録とは登録料の支払いも含むものである。

尚、ウェルカムナイト費や大懇親会費が登録料と一体の場合はその支払いも含む。



## 会 員 異 動

(2022年1月1日現在)

**2022年度 正会員数 61 名**

(内訳)

・2021年度会員	61 名	
・2021年度退会会員	2 名	高橋宏一・吉成透
・2021年度卒業生	8 名	
・2022年度新入会員	10 名	

---

計 61

**2022年度 OB会員数 434 名**

(内訳)

・2021年度シニア会員	119 名	
・2021物故会員	2 名	矢吹弘康・佐々木寛侑
・2021年度退会会員	2 名	星 亮一・寺井恵美子
・2022年度新シニア会員	9 名	

---

計 124

・2021年度OB会員	315 名	
・物故会員	0 名	
・2021年度退会会員	4 名	内藤寛・相田幸喜・山木龍・増子譲
・2021年度新シニア会員	9 名	
・2022年度新OB会員	8 名	

---

計 310

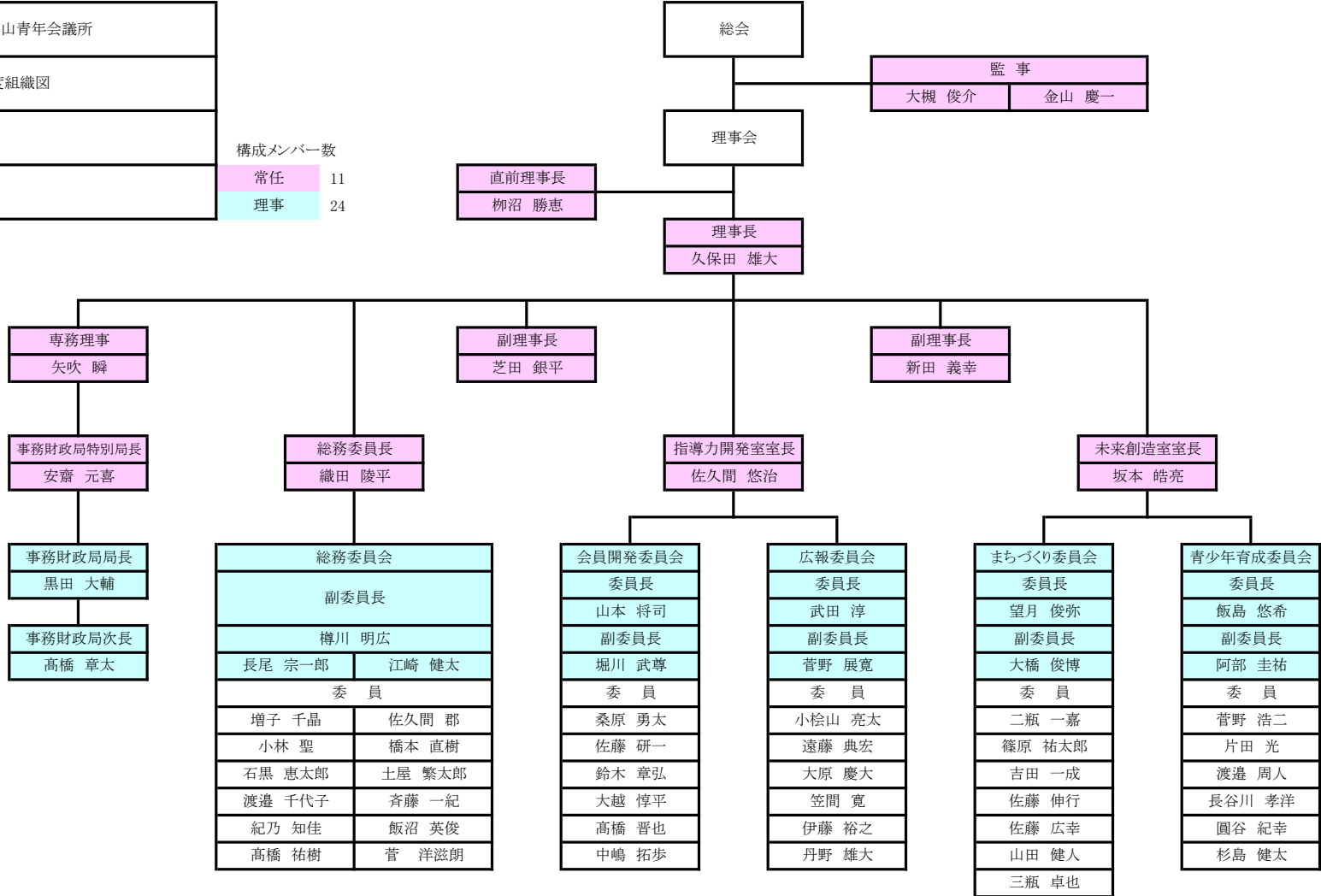
(敬称略)

**2022年度会員合計数 495 名**

---

公益社団法人郡山青年会議所
2022年度組織図
構成メンバー数
常任 11
理事 24

構成メンバー数
常任 11
理事 24



# 2022年度 特別委員会

選挙管理委員会(5名)

金山 慶一 二瓶 一嘉 菅野 浩二 大橋 俊博 黒田 大輔

褒賞委員会(5名)

柳沼 勝恵 大槻 俊介 芝田 銀平 安齋 元喜 高橋 章太

会員選考委員会(7名【担当委員会委員長を含む】)

新田 義幸 金山 慶一 佐久間 悠治 山本 将司 大越 惇平 佐久間 郡 黒田 大輔

情報発信管理者(1名)

武田 淳

## 2022年度 出向者

日本青年会議所	組織改革委員会	副委員長	大槻 俊介
		小幹事	新田 義幸
		委員	圓谷 紀幸
	まちのレジリエンス確立委員会	委員	佐久間 悠治

東北地区協議会	会務担当副会長		柳沼 勝恵
	事務局次長		高橋 章太
	東北青年フォーラム運営委員会	副委員長	二瓶 一嘉
		幹事	大越 惇平
	東北グリーン社会確立会議	委員	佐藤 研一
	価値デザイン会議	委員	三瓶 卓也

福島ブロック協議会	組織連携推進委員会	委員	中嶋 拓歩
	アカデミー委員会	副委員長	坂本 皓亮
		委員	佐藤 広幸
		委員	杉島 健太